

令和3年度クラウド型名刺管理・共有サービスの利用による人脈共有の効果に関する実証及び調査報告

アジェンダ

- はじめに
 - 実証事業の目的
 - 期待する効果
 - 実証事業概要
- **利用促進詳細**
 - 体制と全体スケジュール
 - 利用促進施策全体感報告
 - > 推進リーダー向け導入説明会/地方支分部局向け導入説明会
 - > 過去に取得した名刺のスキャン支援
 - > 夏と冬の勉強会
 - > オンライン名刺の活用促進
 - 名刺公開プロジェクト
 - > プロジェクト概要
 - > 実施結果
- **利用促進による効果**
 - 職員向けアンケート
 - 利用率サマリ
 - 費用対効果の分析
- **ユーザインタビューからわかる行政機関としての活用例**
- **地方支分部局との人脈の共有が行政機関にもたらす価値**
 - 民間企業×経済産業省のネットワークの可視化
 - 地方支分部局×本省のネットワークの可視化
- **実証結果**
- **(appendix) Sansan 人脈共有レポート(β)**

はじめに



実証事業の目的

国内外の産業構造が急速に変化する中、変化の潮流や市場のプレイヤーが抱える課題を察知し、「現場」に即した経済産業政策を立案・実行するためには、それぞれの職員がどのような事業者・有識者と情報交換・意見交換等で接したか省内で共有し、別の職員が自らの関心事項を踏まえ、さらに情報交換・意見交換を重ねることが重要です。とりわけ、地方支分部局の職員が得た名刺を省内で共有し、「現場」との繋がりを可視化することにより、「現場」の声を政策立案に反映させることが一層求められております。

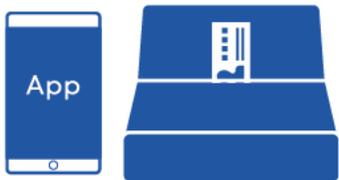
令和2年度は経済産業省本省職員4,000名を対象に事業を遂行しましたが、令和3年度は利用対象を本省に留まらず地方支分部局にも拡大し、地方支分部局の人脈を本省と共有することで、業務においてどのような効果があるか実証し、地方支分部局との連携を一層進めていくための方策について検討を行いました。

期待する効果①

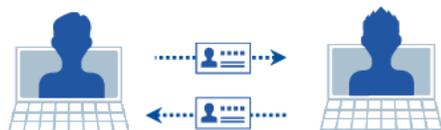
名刺の保管スペースの削減/紛失リスクを減らしよりセキュアな状態に

1時間で約1,000枚スキャンすることができるため、手元にある膨大な量の名刺をスピーディーにデータ化し、その後紙名刺は破棄することで**保管スペースの削減**にも繋がられる。デジタル化することで持ち運ぶ必要性が無くなり、紛失リスクを減らすことができるほか、検索性が上がるため**名刺を探すのにかかっていた時間を削減**することもできる。

紙の名刺をスキャン



オンライン名刺交換



翌営業日中に
データ化(*)



精度**99.9%**のデータ化

(*)1アカウントあたり、
20枚/日まで翌営業日中にデータ化しております

ロッカーに保管していた名刺を
クラウドで管理することで
省スペース化を実現



期待する効果②

民間企業に関する情報収集の効率化（企業のニュース、財務・業績、分析レポートなど）

名刺登録している企業会社情報（関連ニュース、財務・業績、分析レポートなど）がSansanを経由して入手できるなど、ヒアリング前に実施する基本的な情報収集の一端を担える。また、訪問先企業の地図や基本情報を訪問途中にも閲覧できるため、急な対応が求められても臨機応変に対応が可能。



分析レポート（決算発表より自動生成）

人事異動・連絡先変更のお知らせ

三三ホールディングス株式会社の伊勢原 一さんの部署が変わりました。
※以下の情報は、すでに人物情報へ反映されています。

NEW

ダイヤモンド社提供

三三ホールディングス株式会社

伊勢原 一

2018/09/04に内戸誠司 [CTO室] さんが交換

あなたが持っている名刺

伊勢原 一

2018/04/17山田賢治 [営業部] さんが交換

部署名 営業部 マネジャー

住所 〒150-2038

外部ソース等を元に異動情報を通知

戸田 弘晶

あやめ情報システム株式会社

システムビジネス開発部
シニアデザイナー

電話 メール マップ コンタクト

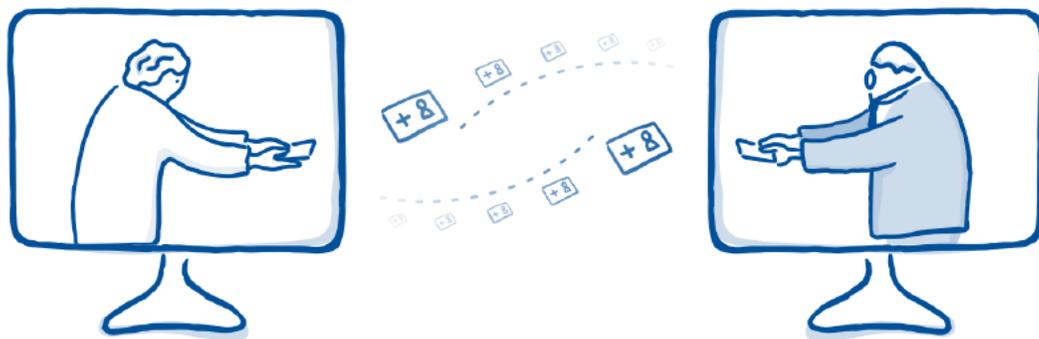
人物情報 あなたが持っている名刺

情報をすぐに見せる

期待する効果③

リモートワークにおけるオンライン名刺機能

オンライン名刺の機能があり、対面で会わなくても名刺交換が可能。ウェブ会議の際に、自分の名刺のURLを送ることで相手方が自分の名刺データを手に入れる。メールの署名欄に、自分のオンライン名刺のURLを記載しておくとも便利。（相手方がSansanユーザーでなくても取得可能）



初回のみ

相手に送りたい名刺を
スキャンして登録



スキャナ/アプリから登録可能

1

名刺送付用のURLを
発行し相手へ送る



URL : ****

オンライン会議のチャットやメールで送付

2

相手が名刺を受け取ると同時に
名刺を送り返してもらう



どなたでも名刺情報の登録と送り返しが可能

実証事業概要

- 対象者
 - 経済産業省職員 5,287名 (3/18時点)
 - 内訳は右記の通り
- 対象期間
 - 2021/04/01 - 2022/03/31
- 利用サービス
 - 名刺管理サービスSansanに関する下記
 - ライセンス数：5,500ID
 - スキャナ/通信機器：各50台
 - 名刺取り込み枠：年間400,000枚
 - 専任担当による導入支援

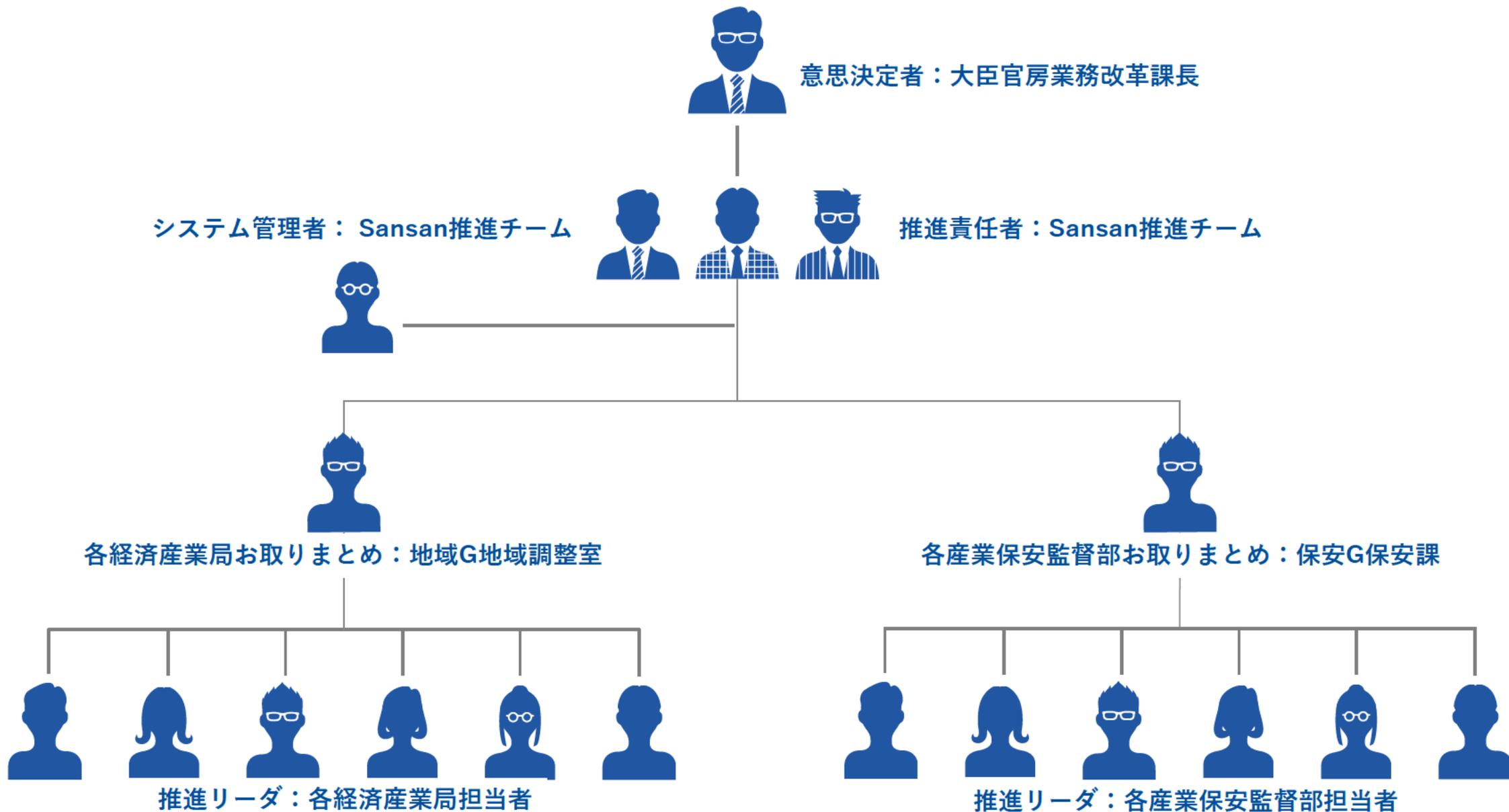
部署名	所属ユーザ数
本省	22名
大臣官房	393名
調統G	152名
福島G	73名
産政局	147名
地域G	70名
通政局	206名
貿易局	265名
産技局	245名
製造局	273名
商情局	130名
保安G	106名
商サG	191名
電取委	52名
エネ庁	397名
中企庁	255名
特許庁	17名
経済産業研修所	12名
その他	216名
北海道経済産業局	164名
東北経済産業局	174名
関東経済産業局	347名
中部経済産業局	244名
近畿経済産業局	277名
中国経済産業局	158名
四国経済産業局	121名
九州経済産業局	226名
沖縄経済産業部	53名
北海道産業保安監督部	33名
関東東北産業保安監督部東北支部	37名
関東東北産業保安監督部	53名
中部近畿産業保安監督部	40名
中部近畿産業保安監督部近畿支部	36名
中国四国産業保安監督部	24名
中国四国産業保安監督部四国支部	22名
九州産業保安監督部	41名
那覇産業保安監督事務所	9名

利用促進詳細

体制と全体スケジュール



推進体制



全体スケジュール

	2021年									2022年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
打ち合わせ	<ul style="list-style-type: none"> キックオフ 体制構築 システム設定 名刺取り込みサービス 	<ul style="list-style-type: none"> 名刺取り込みサービス 推進リーダ向け説明会内容 オンライン名刺活用 	<ul style="list-style-type: none"> 名刺取り込みサービス 地方支分部局向け説明会内容 利用状況確認 他システム連携 	<ul style="list-style-type: none"> 利用促進アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> 夏の勉強会内容 		<ul style="list-style-type: none"> 非公開名刺の公開プロジェクト 	<ul style="list-style-type: none"> 名刺取り込みサービス 	<ul style="list-style-type: none"> 週次定例実施 利用状況確認 利用促進施策検討 		<ul style="list-style-type: none"> アンケート内容 冬の勉強会内容 	
説明会		<ul style="list-style-type: none"> 推進リーダ向け説明会 × 3回 	<ul style="list-style-type: none"> ユーザ向け説明会 × 16回 			<ul style="list-style-type: none"> 夏の勉強会 × 2回 ※発展機能活用説明会 						<ul style="list-style-type: none"> 冬の勉強会 × 2回 ※発展機能活用説明会
名刺スキャン			<ul style="list-style-type: none"> 訪問取り込み実施 				<ul style="list-style-type: none"> 訪問取り込み実施 					
その他					<ul style="list-style-type: none"> ユーザアンケート実施 				<ul style="list-style-type: none"> ユーザインタビュー実施 	<ul style="list-style-type: none"> ユーザアンケート実施 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート集計 	<ul style="list-style-type: none"> 報告書作成

利用促進施策全体感報告



地方支分部局：推進リーダー向け導入説明会/ユーザ向け活用説明会

前年度の本省での導入を踏まえ、しっかりとデータベースを構築し活用を促進するために各地方支分部局毎に推進リーダーをアサインいただき、推進リーダー向け説明会を実施。その後、名刺取り込みサービス実施後には、蓄積した人脈をどのように政策に生かすことができるのか、ユーザ向けの機能説明会を実施。

推進リーダー向け導入説明会

- 実施日
 - 5月に3回実施。すべての推進リーダーに必須で参加いただき、本事業の目的や名刺取り込みサービスの進め方について説明。
- 当日のアジェンダ
 - 期待する効果
 - 推進体制
 - Sansanとは
 - 利用ルール
 - スケジュール・依頼事項

ユーザ向け活用説明会

- 実施日
 - 6-7月にかけて16回実施。
- 当日のアジェンダ
 - 名刺のスキャン方法
 - ログイン方法
 - 名刺検索
 - 様々な情報の見方
 - 最新のニュース
 - 名刺をグルーピングするタグ機能
 - オンライン名刺使い方
 - スマートフォンアプリの使い方

過去に取得した名刺のスキャン支援①

本実証にあたっては、活用するための人脈をいかに多く蓄積できるかが最も重要な要素となるため、各ユーザが過去に交換した名刺を一括でスキャンするための支援を実施した。本年は地方支分部局にも範囲を広げ、各地方の名刺を本省に集め、訪問型スキャン代行サービスを実施した。

- 名刺取り込みサービス概要

- 名刺提出用キットに名刺を封入し、庁舎の一か所に集めていただき、スタッフが訪問する形でスキャン代行を実施。詳細は[こちら](#)。
- 今回の実証事業においては134,116枚の代行スキャンを実施し、おおよそ270時間の削減につながった。

- 実施詳細

実施日	取り込み枚数
2021年6月10日	17,617枚
2021年6月11日	22,337枚
2021年6月14日	14,109枚
2021年6月15日	18,757枚
2021年6月16日	29,624枚
2021年6月17日	8,713枚
2021年10月13日	15,591枚
2021年10月14日	7,368枚



過去に取得した名刺のスキャン支援②

- 名刺取り込みサービスを活用するメリット
 - 取込にかかる時間（1万枚につき20時間）を削減することが可能
 - 取込ミスが無くなり、バラツキのないデータベースをつくることが可能に
 - 対象ユーザの選択ミスや日付指定ミスなど、個々で行うと取込ミスが発生しやすくなる
 - スキャナの台数が少ない地方支分部局においても、名刺を回収するだけで効率的に過去名刺のスキャンを行うことができる
 - 初期取り込みの枚数が150枚/IDを超えているかどうかで、ヘビーユーザの割合が2倍以上差が出るとのデータが取れており、活用を成功させるためにも初期取り込みが非常に重要

夏と冬の勉強会

名刺取り込み支援や基本的な機能の説明会が終了したタイミングで、日々の業務に活かせる具体的な活用方法の勉強会を追加開催。

- 実施日

- 9月に2回、3月に2回 計4回開催

- 当日のアジェンダ

- 民間企業の担当窓口を効率的に検索する方法
- 名刺をグループ化してわかりやすく管理する方法
- 名刺情報を一覧でリスト化する方法
- スキ間時間を使って効率的に企業情報を調べる方法
- オンライン名刺付きバーチャル背景でオンライン接点を確実に蓄積する方法
- 企業情報を色々な角度で調べる方法 等



【なつ勉】 Sansanで脱ストレス！ 省内人脈を業務に生かす方法

Sansanを単なる名刺管理だと思っていないですか？前任者が誰と会っていたか、すぐに知りたいのに確認に手間取ることはありませんか？

Sansanは情報の四次元ポケットです。

単純な名刺検索に留まらず、民間企業の財務情報や、人事異動ニュース等、様々な情報をシームレスに、ストレスなくキャッチすることができます。



この研修では、**ご自身が気づいていない意外な人脈にたどり着く方法や、名刺に紐づく様々な情報を手間なく確認するHow to**を御紹介します。

日時	① 9/14 (火) 11:00~11:45 ② 9/30 (木) 12:15~13:00 ※ ①・②ともに同じ内容です。都合のよい回に御参加ください。
開催場所	オンライン (Teams)
対象者	全職員 (役職・職種・年齢等は一切問いません。) ※各回最大500名まで。特許庁は対象外となります。

オンライン名刺の活用促進

リモートワークにおいても民間企業とのコミュニケーションを円滑に実施し、人脈をしっかりと蓄積するために、オンライン名刺の利用促進を実施した。

- 実施内容

- オンライン名刺の利用方法やバーチャル背景の作成方法に関する操作説明動画の制作
- メール発信による利用促進
- システム管理者によるオンライン名刺の一括設定

- 結果

- システム管理者による一括設定により、5,190名のユーザのオンライン名刺設定が完了
- 一方で、オンライン名刺の交換枚数は累積で649枚とまだまだ活用の余地があるため、引き続き定着に向けて促進の必要がある。



sansan

Sansan利用促進中!

オンライン会議でも名刺交換しましょう!

経済産業省本省職員のみなさま、こんにちは、Sansan 推進チームです。
皆さん、現在実証導入中の法人向けクラウド名刺管理サービス「Sansan」はご活用いただいておりますでしょうか？

Sansan へのログインはこちら：<https://ap.sansan.com/v/SSLlogin.aspx>
オンライン名刺のご利用はこちら：<https://ap.sansan.com/v/virtual-card-settings/>

「オンライン会議では名刺交換できないのか？」
というお問い合わせをよくいただきますが、Sansan を使えば簡単にどなたでもオンライン上で名刺交換をすることができます！

Sansanユーザー ←→ Sansanで利用していない人

現在仮のオンライン名刺を推進チームで一括登録しておりますが、是非ご自分の名刺を改めてご登録いただき、オンライン名刺交換をお試しください！

付きバーチャル背景の方法について



0:00 / 2:03



名刺公開プロジェクト



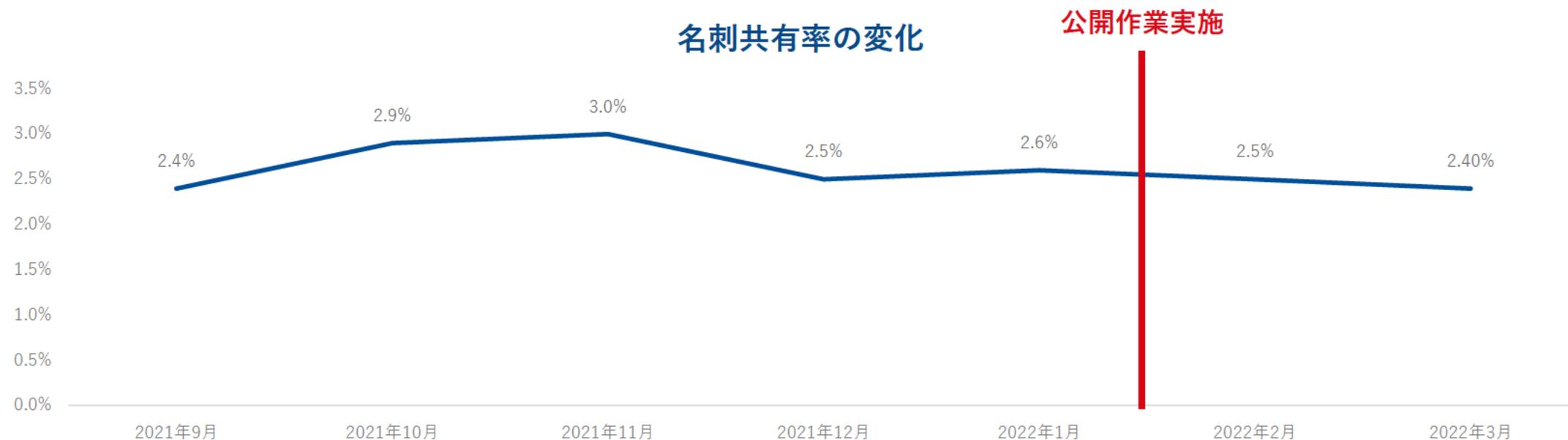
名刺公開プロジェクト概要

- 経済産業省様における名刺公開の状況
 - 前年度（2020年6月）の全省導入時、導入をスムーズに進めるために名刺を非公開にする設定でスキャン代行サービスを実施。一部の名刺の共有範囲が制限されていた。
 - 個人の名刺管理に留めることなく、全職員の人脈を共有することが本実証事業において非常に重要なため、改めて行政機関における名刺の共有について整理し、ホームページ上でも「今後の連絡のため名刺交換により取得した情報を省内で共有している」旨を公表した。
- 全省開放によって得られるメリットは以下の通り

具体的例	概要	現状	名刺が公開されると…
人事異動ニュースの情報源増大	自分が名刺交換した人物の人事異動情報を自動でお知らせしてくれる機能	情報ソースが外部情報（共同通信社・ダイヤモンド・Eightの公開プロフィール）に限定される。	外部情報に加え、他の職員が登録した名刺情報が情報ソースとなり、情報の取得範囲が格段に広がる。
組織ツリーの充実	名刺情報を元に民間企業の仮想的な組織図と自社との接点情報を確認できる機能	ご自分の名刺＋一部の公開名刺のみで組織ツリーが生成される	全ての職員の接点から組織ツリーが生成される
最新の人物情報の情報源の増大	取引先の人物の最新の経歴や名刺情報を確認したり、リスト化することが可能。	他の職員が最新の情報を保有していても、その情報を確認することは出来ない。	貴省が保有する全ての名刺情報の中から最新の情報を確認することが可能。

名刺公開プロジェクト結果（アンケートおよび実施報告）

- 名刺を1枚以上保有しているユーザに対し、**名刺の公開処理に対する賛同可否のアンケート**を実施
 - 全693回答中、同じユーザからの重複回答を除くと661名の回答
 - 661名中561名が公開希望
 - 2022年1月12日にSansan社にて561名分の名刺の公開処理を実施
- 利用率の変化は下記の通りで、名刺の公開による利用率の変化は現時点で見られなかったが、実施から2か月程度しか経過していないため、今後も名刺共有率の変化については経過を観察していく。



※名刺共有率：すべてのユーザのうち他ユーザの名刺を閲覧・活用しているユーザの割合

利用促進による効果

職員向けアンケート



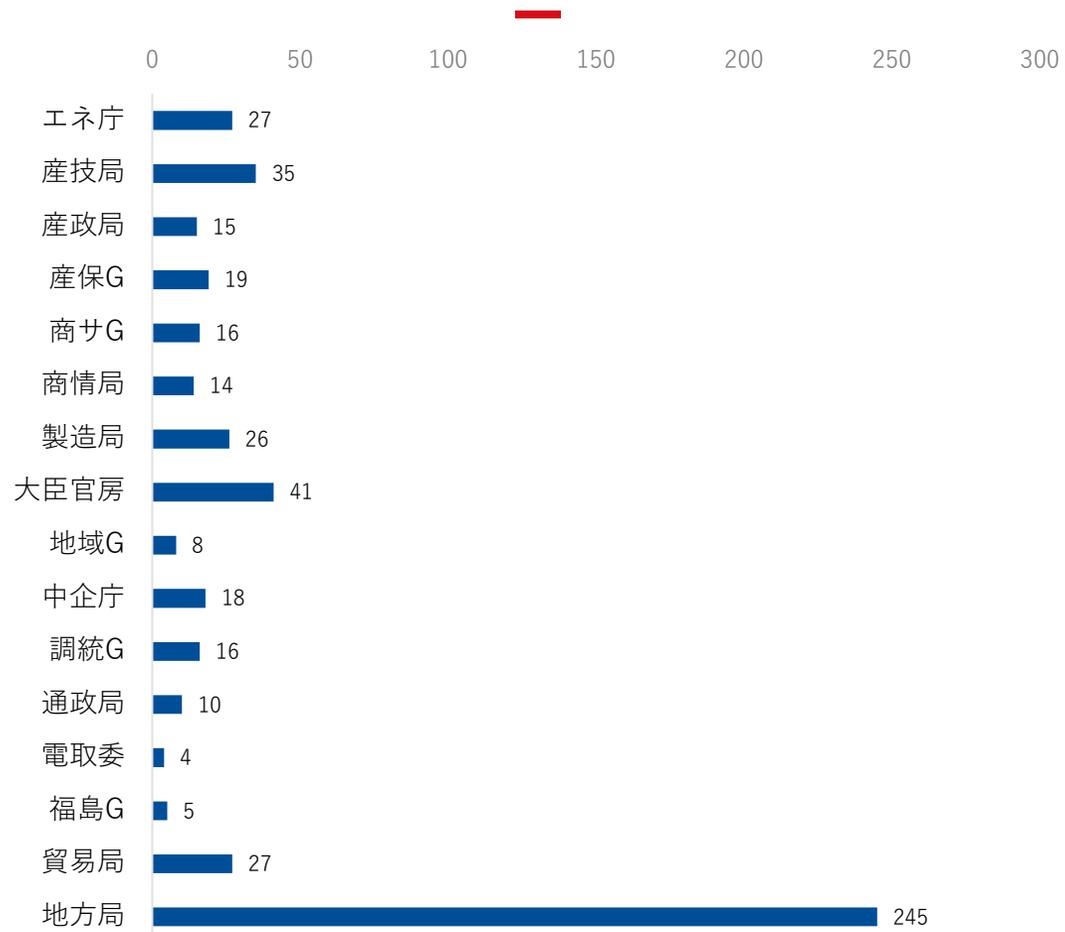
アンケート概要

- 回答期間
 - 令和3年2月2日～16日
- 実施形式
 - Share Point（選択式及び記述式）
- 回答数
 - 526／5287名
- 設問
 - 右記の通り

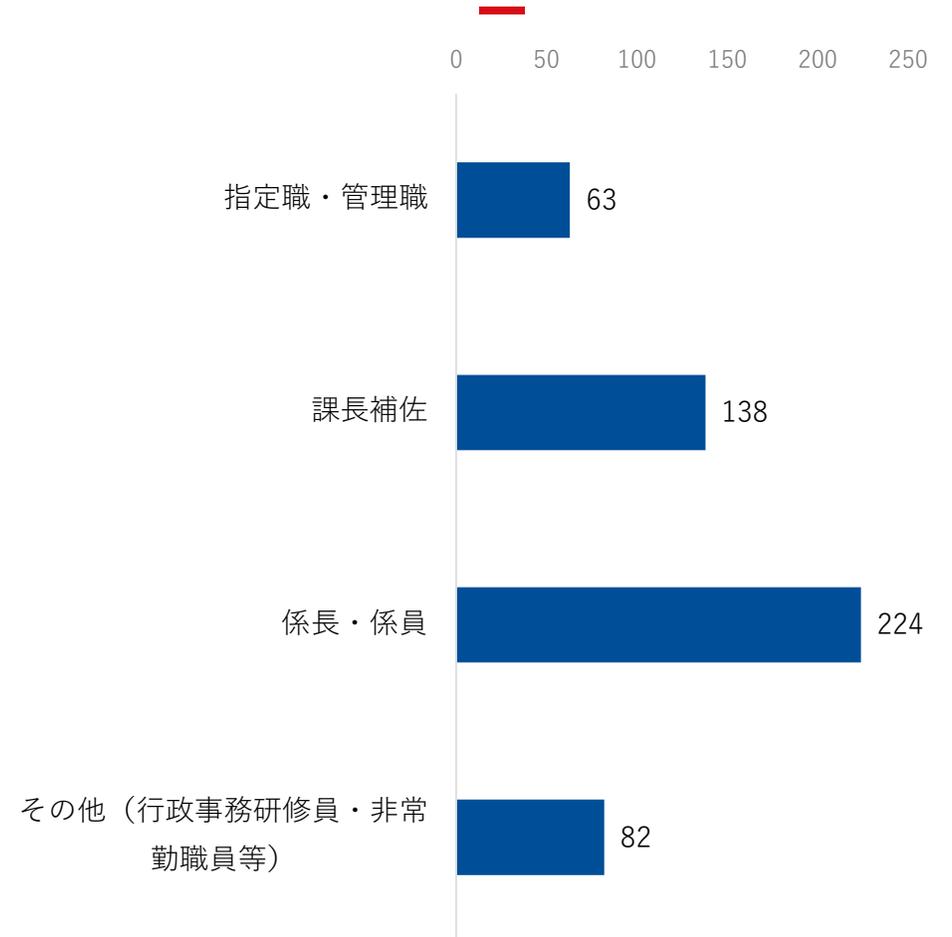
1. 所属部署を選択してください。
2. 役職を選択してください
3. 普段、自分が取得した名刺をどのように管理していますか？
4. 今年度Sansanの名刺管理サービスを利用しましたか？
5. なぜログインしなかったのですか？（複数回答可）
6. なぜ名刺を取り込まなかったのですか？（複数回答可）
7. どのような設定で取り込みましたか？
8. 非公開設定にした理由は何ですか？
9. Sansanのどのような機能が便利と感じましたか？（複数回答可）
10. 他の職員が取り込んだ名刺を参照できる利点は何ですか？（複数回答可）
11. Sansanを通じた人脈の情報共有が自課室の政策立案や他課室及び地方支分部局との連携等において有効でしたか
12. どのようなシーンにおいて有効でしたか
13. Sansanの活用を促進する上であった方がいいと思うものは何ですか？（複数回答可）
14. 今後、Sansanのような名刺共有サービスを利用したいと思いますか？
15. Sansanの利用満足度を教えてください。
16. Sansanのような名刺共有サービスの利用について御意見があれば記載してください。

1. あなたの所属部局を教えてください/ 2. あなたの役職を教えてください

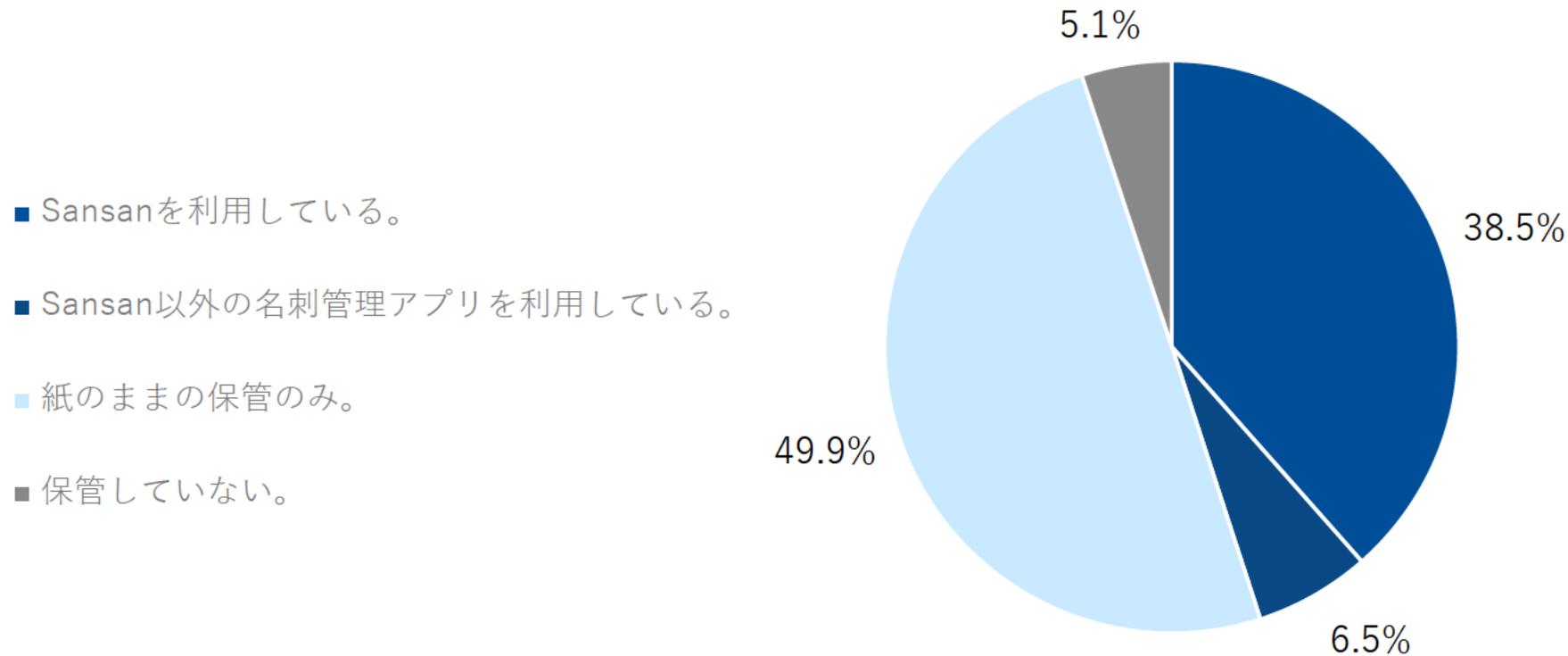
1. あなたの所属部局を教えてください



2. あなたの役職を教えてください (回答無し19名を除く)



3. 普段、自分が取得した名刺をどのように管理していますか？ (全体：491回答)



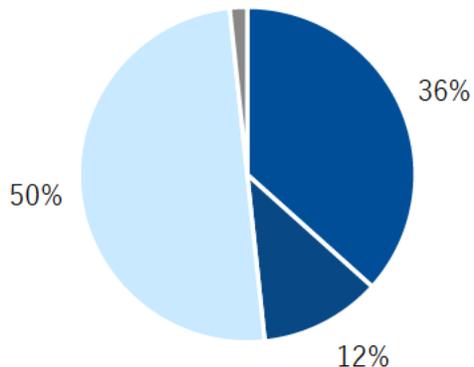
全体のうち名刺を保管していないユーザは5.1%とごくわずかで、基本的には何かしらの手段で名刺を管理していることが分かった。前年度の実証事業ではSansan以外のアプリを使用しているユーザが9.8%いたが、全省導入2年目で浸透度合いが高まったこともあり、3.3%減の6.5%となった。

紙のまま保管しているのみの方は全体の約半数の249名で、サービスが継続利用できるかわからないため、**ニーズはあるものの利用開始しなかった方が一定数いる状況**だった。

3. 普段、自分が取得した名刺をどのように管理していますか？ (役職別、役職欄空欄を除く)

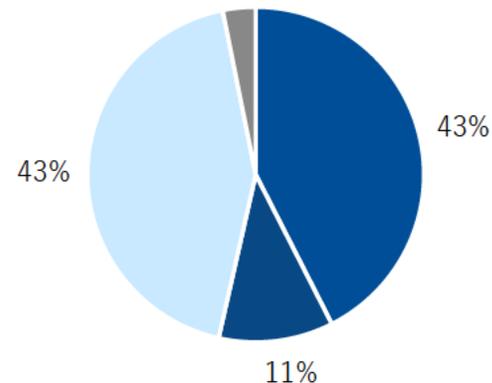
指定職・管理職 60名
2%

- Sansanを利用している。
- Sansan以外の名刺管理アプリを利用している。
- 紙のままの保管のみ。
- 保管していない。



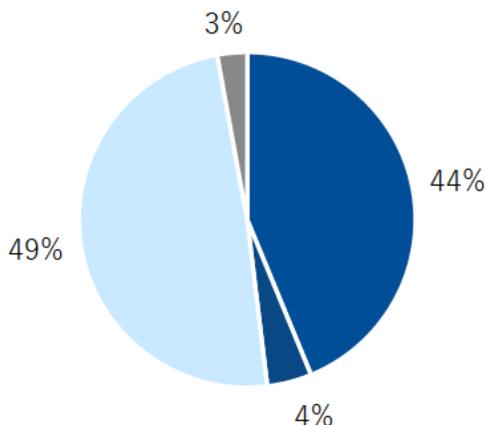
課長補佐 127名
3%

- Sansanを利用している。
- Sansan以外の名刺管理アプリを利用している。
- 紙のままの保管のみ。
- 保管していない。



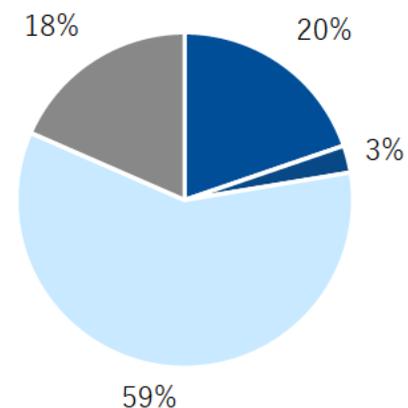
係長・係員 210名

- Sansanを利用している。
- Sansan以外の名刺管理アプリを利用している。
- 紙のままの保管のみ。
- 保管していない。



その他 76名

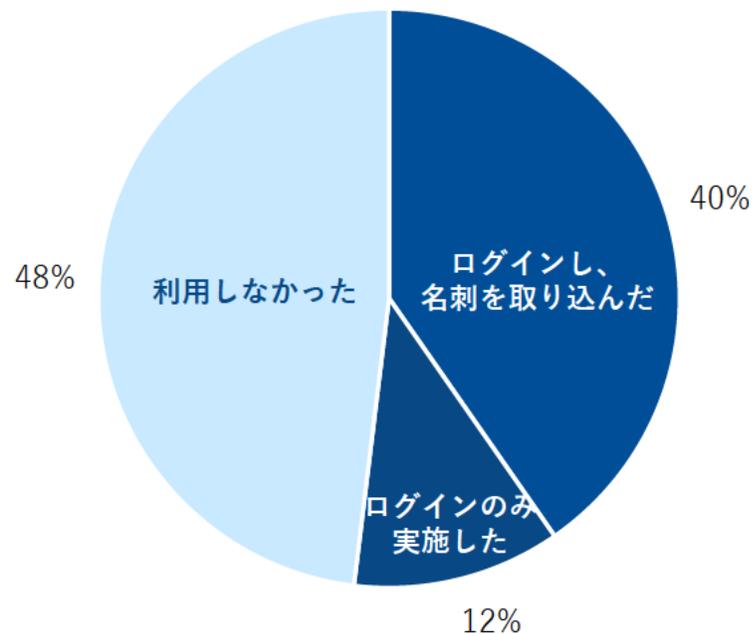
- Sansanを利用している。
- Sansan以外の名刺管理アプリを利用している。
- 紙のままの保管のみ。
- 保管していない。



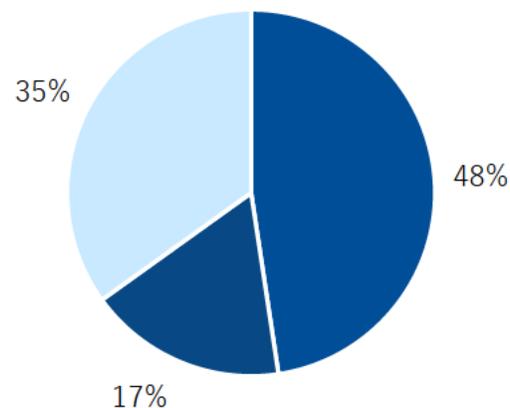
最も人数の多い係長・係員において、Sansanを利用している割合が高い状況だった。また、何かしらのシステムを活用して名刺を管理している割合は課長補佐が43% + 11% = 54%と最も高かった。

4. 今年度Sansanの名刺管理サービスを利用しましたか？

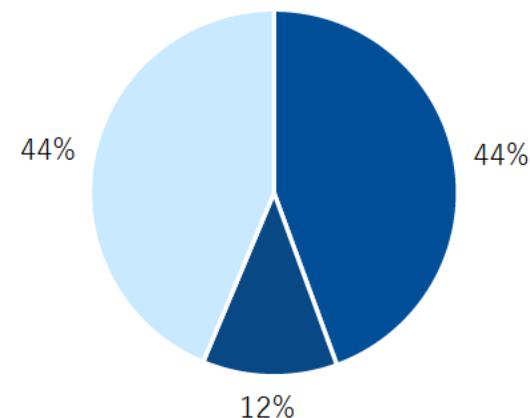
全体518名



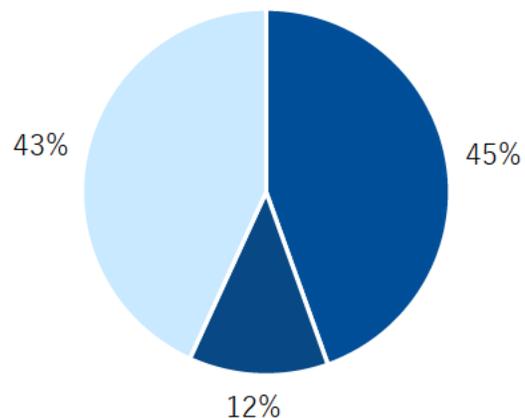
指定職・管理職 63名



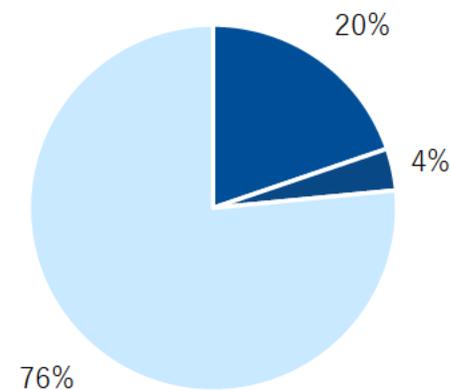
課長補佐 135名



係長・係員 220名



その他 81名

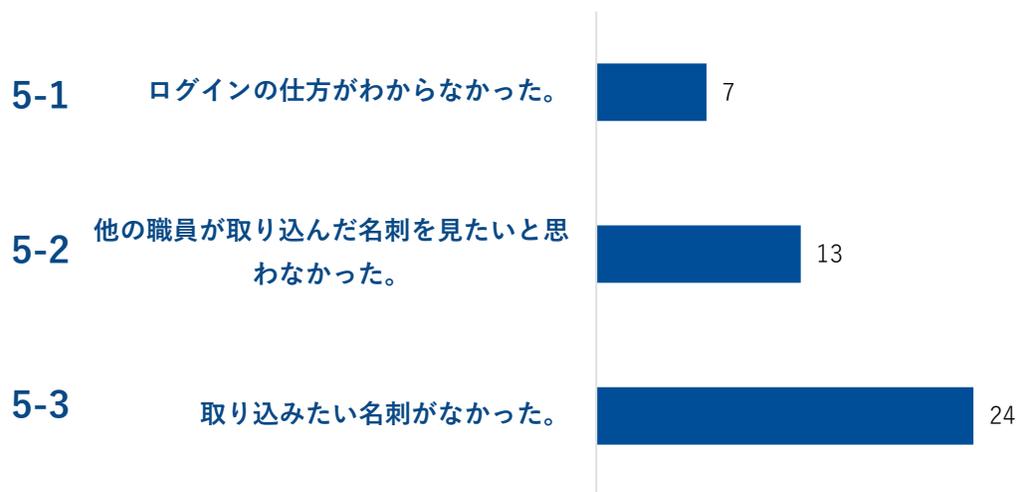


指定職・管理職においてSansanの利用率が最も高く、約半数の職員がSansanを活用している状態だった。指定職・管理職>係長・係員>課長補佐>その他の順に利用率は高く、その他のセグメントと他のセグメントで利用しなかったユーザの割合に大きく差が出た。コロナ禍において、他職員の名刺の閲覧ニーズが一時的に低下したことが要因と考えられる。

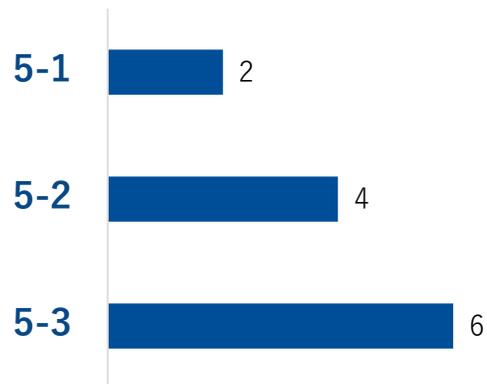
(4.でログインしなかったと回答した方に伺います。)

5. なぜログインしなかったのですか？ (複数回答可)

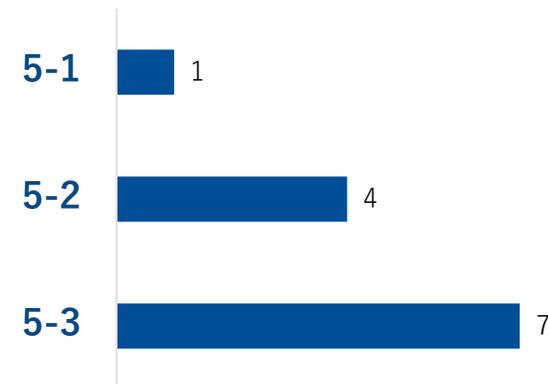
全体 37名



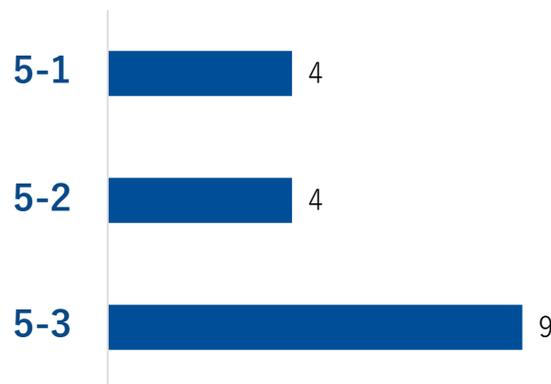
指定職・管理職 9名



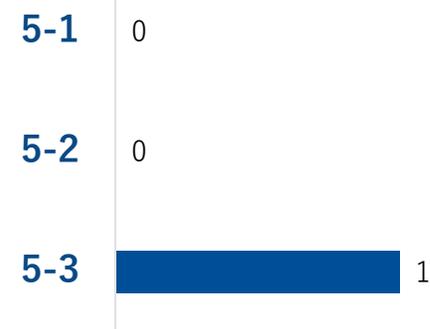
課長補佐 11名



係長・係員 15名



その他 (行政事務研修員・非常勤職員等)

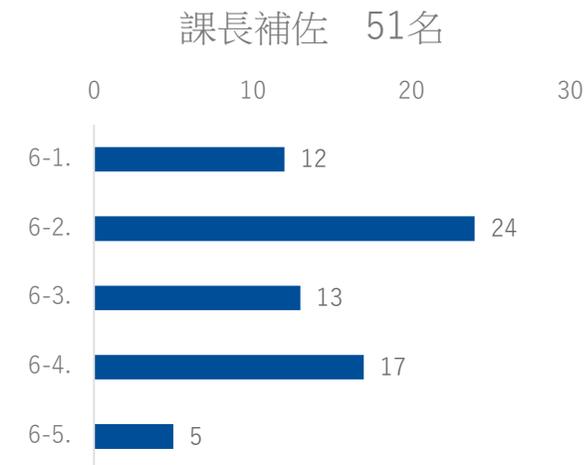
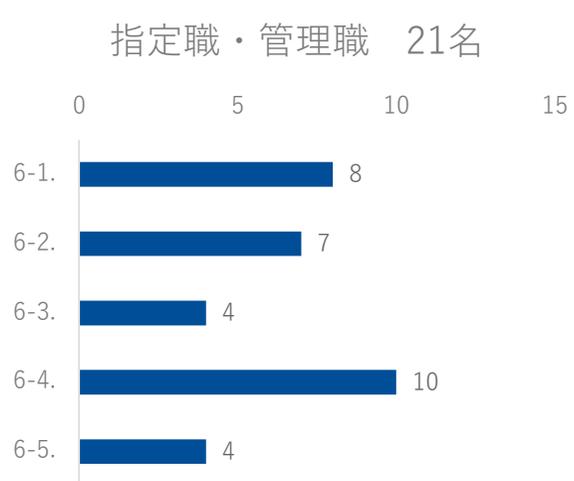
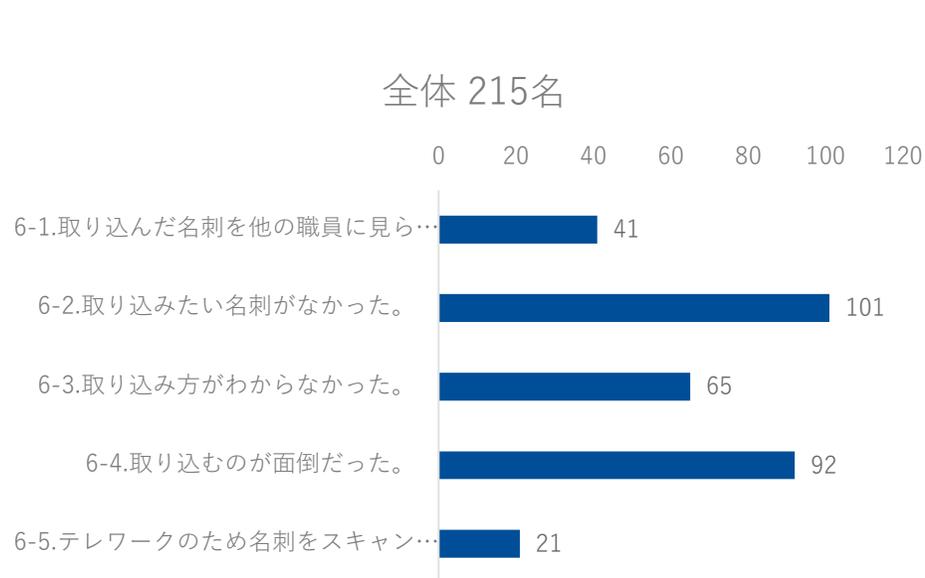


取り込みたい名刺がなかった、という回答が全体の6割を占めている状態で、どのセグメントにおいても同様の傾向であった。ログインの仕方がわからなかったユーザも2割程度いるため、引き続き利用促進を実施する必要があると言える。

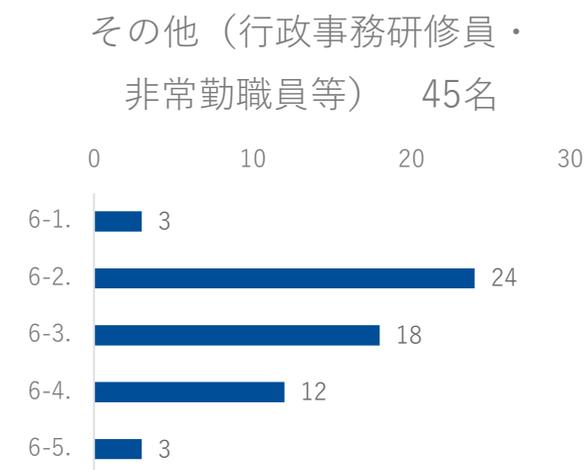
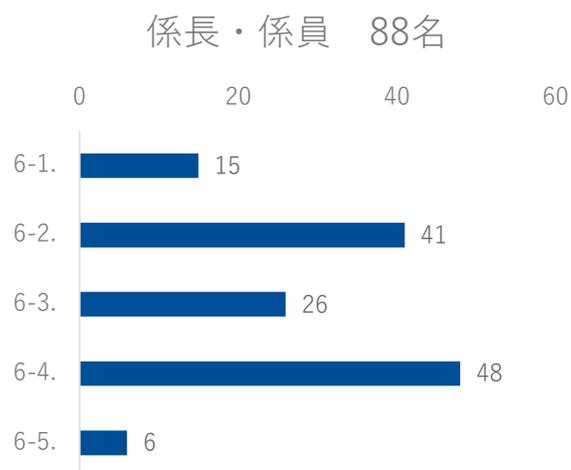
また、他の職員の名刺をみるだけでなく、様々な企業の情報やニュースを閲覧できる機能にも価値があるため、**名刺管理以外の機能の認知度を上げる**ことも今後の促進のポイントとなると言える。

(4.でログインしたが名刺を取り込まなかったと回答した方に伺います。)

6. なぜ名刺を取り込まなかったのですか？ (複数回答可)

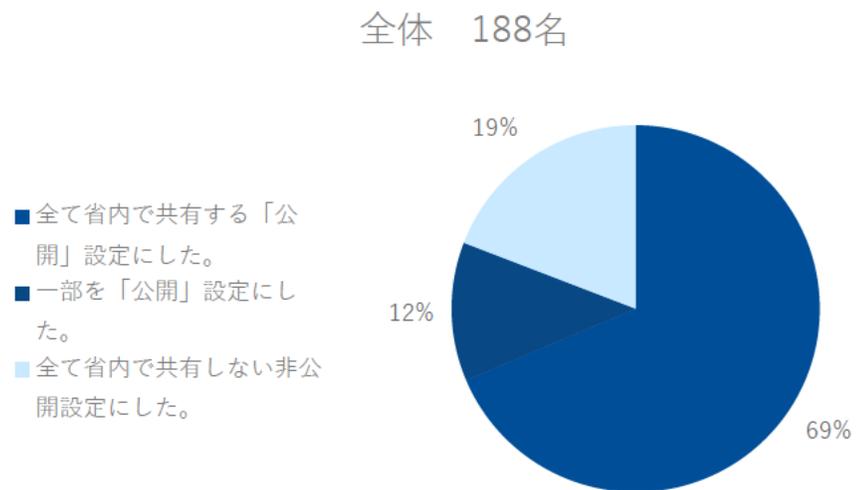


課長補佐とその他においては**取り込みたい名刺がなかったという回答が最も多かった**。一方で、指定職・管理職と係長・係員においては**取り込むのが面倒だったという回答が最も多く、名刺取り込みサービス等の代行サービスの活用を検討いただくことで解消できる**と推測される。また、取り込んだ名刺を他の職員に見られたくない場合、**名刺の非公開機能**等も用意されており、個人の名刺管理としても使える状態になっているため、利用方法の習熟度を高めていく必要がある。

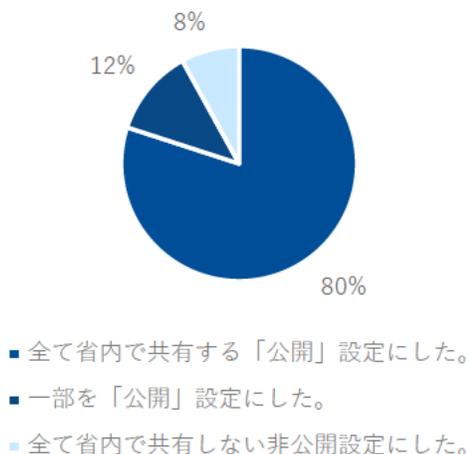


(4.でログインし、名刺を取り込んだと回答した方に伺います。)

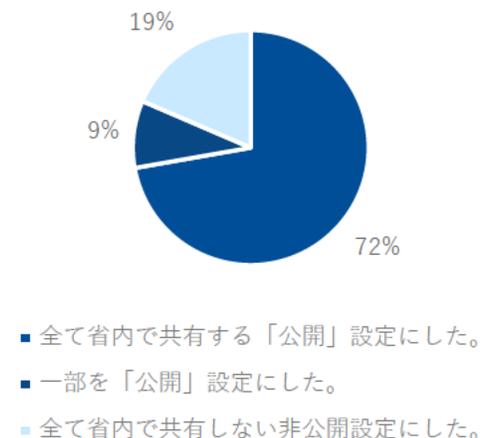
7. どのような設定で取り込みましたか？



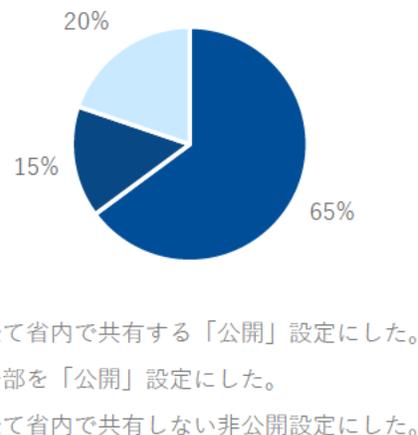
指定職・管理職 25名



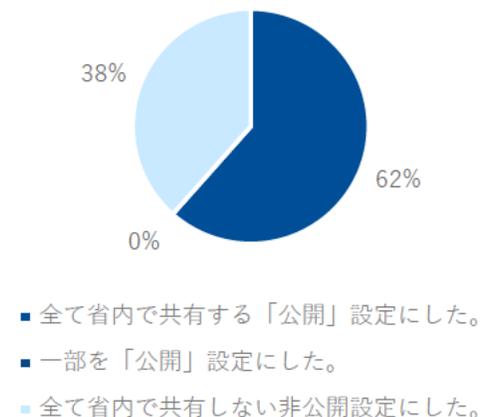
課長補佐 54名



係長・係員 91名



その他（行政事務研修員・非常勤職員等） 13名



全体としては68%の方が「全て公開」の状態ですキャンを実施しており、**前年度の調査時と比べて32%上昇した。**

その他のセグメントが非公開設定の比率が最も高く、問8のフリーコメントによると業務上の指示により非公開設定にしていたユーザが大半を占めていた。

(7.で全て省内で共有しない非公開設定にしたと回答した方に伺います。)

8. 非公開設定にした理由は何ですか？

- 非公開設定にした理由について、主だったフリーコメントは下記の通り。最も多かったのが「相手に公開の了承を得ていないから」という意見になるが、経済産業省内で個人情報の取扱いについては整理を行っており、ホームページ上でも「今後の連絡のため名刺交換により取得した情報を省内で共有している」旨を公表しているが、前年度までのルール（公開する場合は事前に了承を得ること）が浸透しているために公開設定に切り替えが出来なかったと推測される。

- ・省内の知り合いに自分が誰とあったか知られたくないため。無関係な人に名刺が共有されることで、先方にも迷惑がかかる可能性があるため。公開したくないから。

- ・自分の備忘として連絡先を登録したいだけの場合がほとんどで、仮に付き合いの薄い事業者について省内で紹介を期待されると対応に困るため。

相手に公開の了承を得ていないから。

- ・自分が連絡を取っている相手が省内中に知られると、ほかの職員からの問い合わせが増える等の**業務増大に繋がる可能性があるため**

- ・必要性を感じないため。登録内容を全て確認していないので保証できないため。

- ・特に理由はない

- ・名刺交換しただけで深く知らない相手方を、省内の従前に面識の無い職員へ取り次ぐ作業を回避したいため。

- ・先方に伝えていないから

- ・先方の同意が取れていないから。

- ・名刺を渡したことがない者から、突然、連絡があっても困るため。しかも大体は無理難題が多いことが予想される。とてもビジネスチャンスとは考えられない。また、名刺をもらった者が名刺の者と中継ぎをするのに膨大な時間を要するため2年で異動することが相手もわかっており、名刺を渡したことさえも覚えていないためのに、その中継ぎをすることに負担がかかるため。

- ・**自分の知らないところでコンタクトを取られることの抵抗感**。先方には組織内で名刺を共有していることについて特段断りを入れていないので、勝手に知らない人から連絡が来た場合に何かトラブルにならないか不安な部分がある。

- ・相手側の同意を明示的に得ていないため。

- ・取り扱われ方が不明だったため。

- ・個人情報漏洩防止のため。

- ・共有すべき情報なのか疑問に感じる。

- ・同じく名刺交換した方に通知が届くため

- ・公開の必要性はないと思ったため

- ・**部署の業務遂行上公開が適切ではなく、非公開設定にするように所属の長から求められているから。**

- ・古い名刺が多いため

- ・幹部から預かった名刺のため

- ・相手に伝えていないため。また、仕事の名刺だとしても公開となると嫌な思いをする人もいるかもしれないため。

- ・公開に抵抗があるため

- ・公開することが適切かどうかの判断基準が不明に感じたため。

- ・利用方法の周知方法やセキュリティの観点から考え、いきなり他の職員が連絡する可能性がないとは言えないと考えたため。

- ・特殊な業界であり、情報共有をするのは慎重に考えた。

- ・**使い方を詳しく理解していなかったためその設定となっていた。**

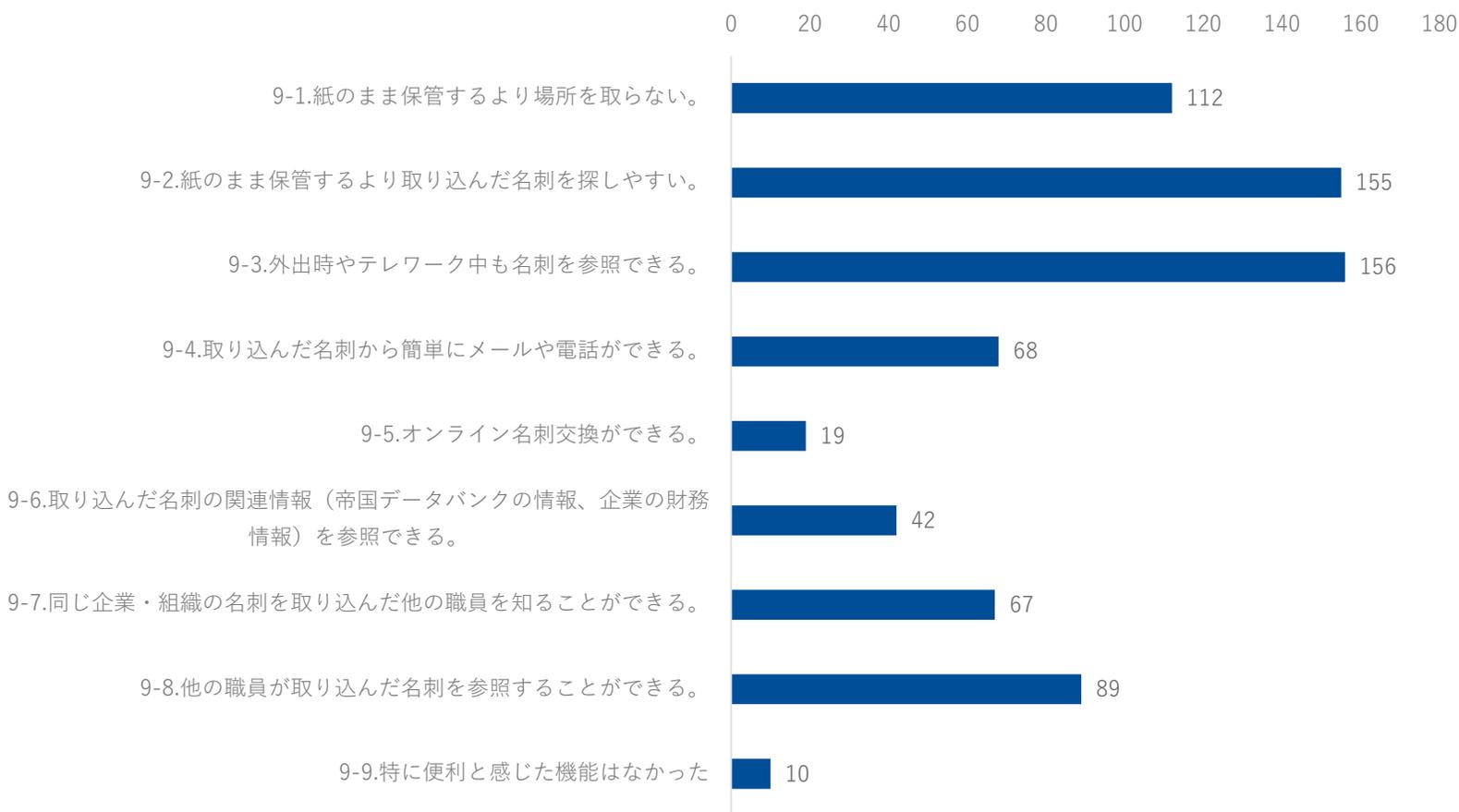
- ・**公務案件と政務案件が混在しているため。(いつ誰と会っているのかが分かってしまうため。)**

- ・幹部の名刺である為

(4.でログインし、名刺を取り込んだと回答した方に伺います。)

9. Sansanのどのような機能が便利と感じましたか？ (複数回答可)

全体 210名



昨年アンケートでは、「9-2.紙のまま保管するより取り込んだ名刺を探しやすい」が最も回答として多かったが、**長引くテレワークの影響で「9-3.外出時やテレワーク中も名刺を参照できる」が今回首位となった。**

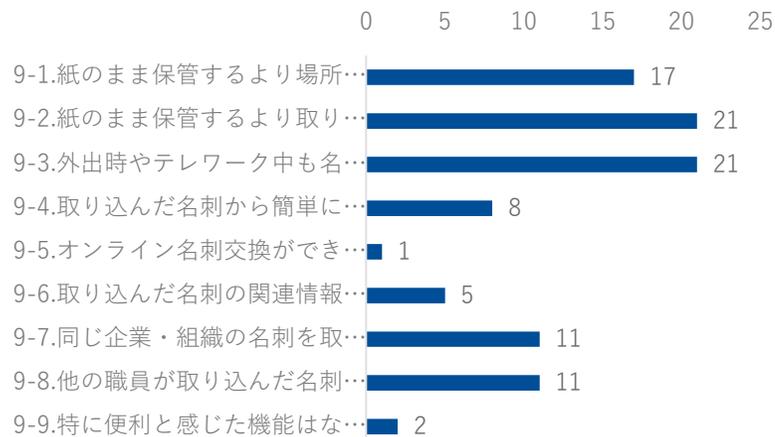
また、「9-8.他の職員が取り込んだ名刺を参照することができる。」「9-7.同じ企業・組織の名刺を取り込んだ他の職員を知ることができる」といった**名刺の共有に価値を感じている回答も増えており**、情報共有をすることで業務効率が上がる点を実証できたといえる。

また、「9-9.特に便利と感じた機能はなかった」という回答は非常に少なく、使用されている方にとっては有益性を実感いただけている状態となった。

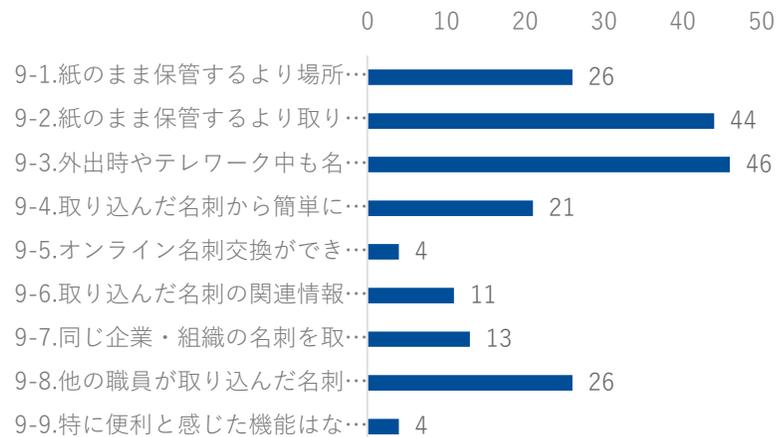
(4.でログインし、名刺を取り込んだと回答した方に伺います。)

9. Sansanのどのような機能が便利と感じましたか？ (複数回答可)

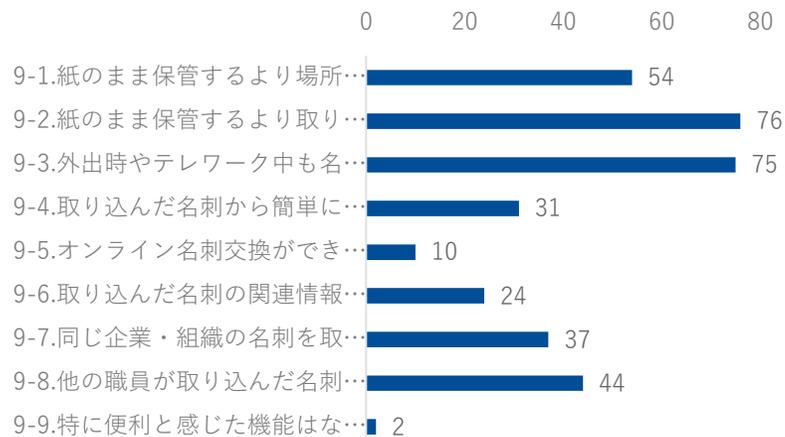
指定職・管理職 30名



課長補佐 60名



係長・係員 100名



その他 (行政事務研修員・非常勤職員等) 15名



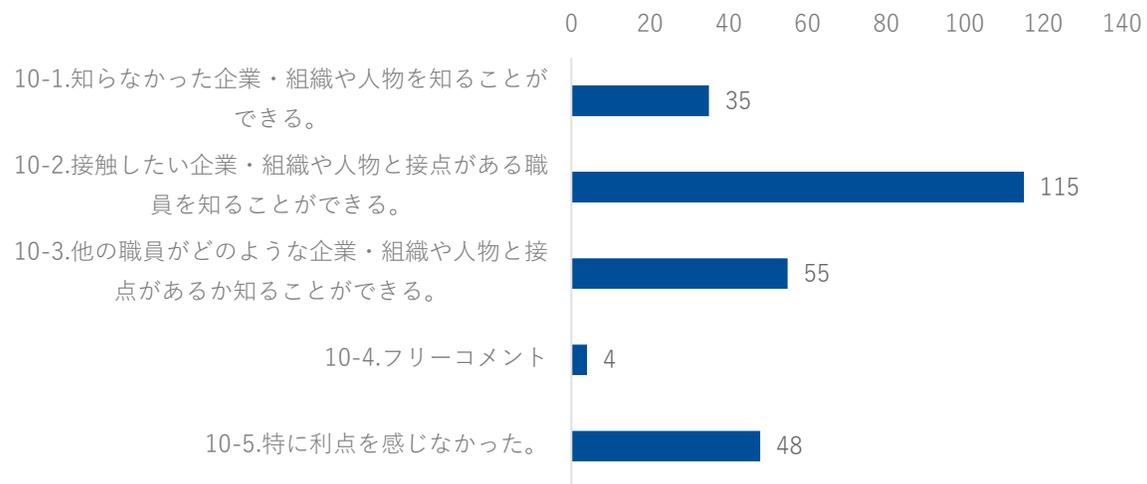
全体的に傾向は似ており、「9-2.紙のまま保管するより取り込んだ名刺を探しやすい。」「9-3.外出時やテレワーク中も名刺を参照できる。」が回答として多い状況だった。

本年度のアンケートにおいては、前年度と比較しても「共有によるシナジー」に効果を感じていた方の割合が高く出ており、単なる名刺管理ではなく組織として情報共有の基盤として活用されていることが推察される。

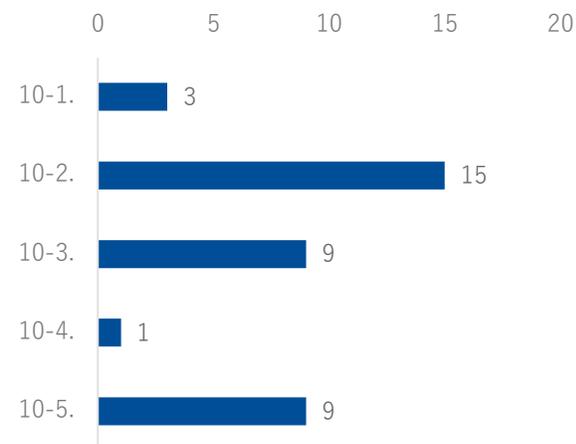
(4.でログインし、名刺を取り込んだと回答した方に伺います。)

10. 他の職員が取り込んだ名刺を参照できる利点は何ですか？(複数回答可)

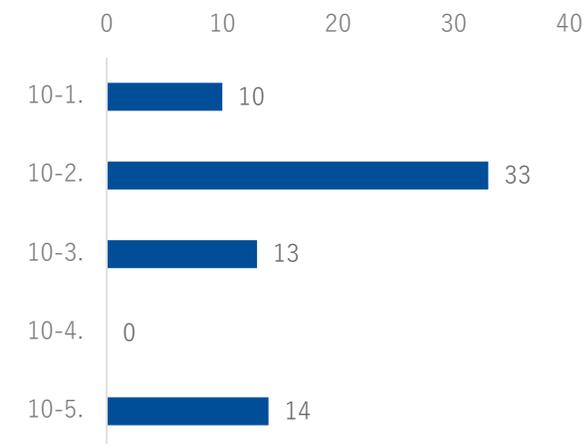
全体 198名



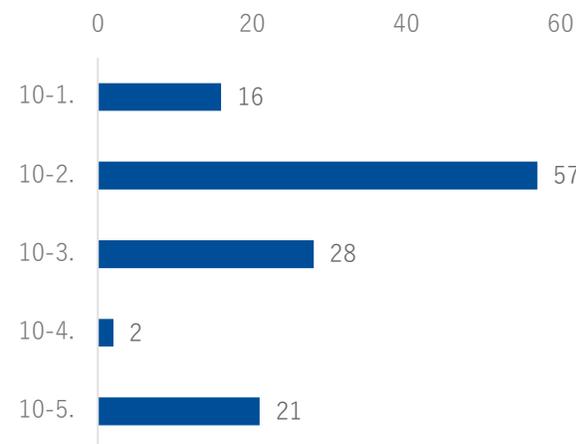
指定職・管理職 29名



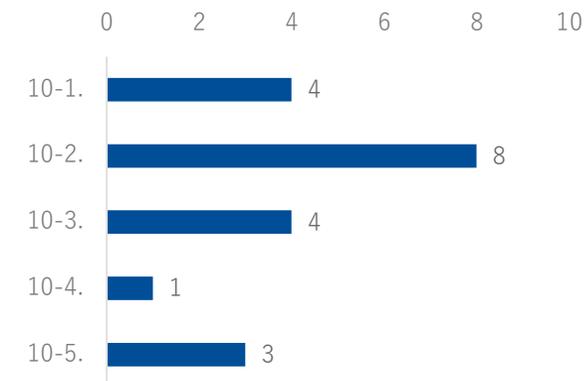
課長補佐 58名



係長・係員 94名



その他（行政事務研修員・非常勤職員等） 14名



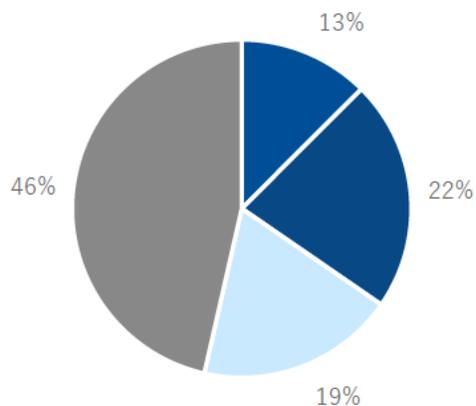
すべてのセグメントにおいて「10-2.接触したい企業・組織や人物と接点がある職員を知ることができる」に価値を感じているユーザが非常に多く、単に情報を取得するだけでなく、その接点を持っている職員をきっかけにターゲット企業や人物との接触を効率化したり、自身の業務に役立てる風土が醸成されてきていると推察されます。

フリーコメント：

- 連絡先を検索できる
- 最新の先方役職・連絡先が確認できる
- 参照したことがなかった
- むしろリスクがあると思う

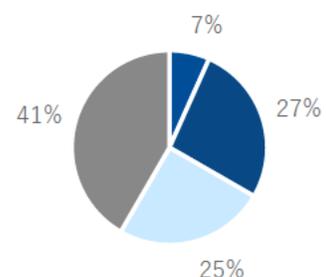
1 1. Sansanを通じた人脈の情報共有が自課室の政策立案や他課室及び地方支分部局との連携等において有効でしたか

全体 465名



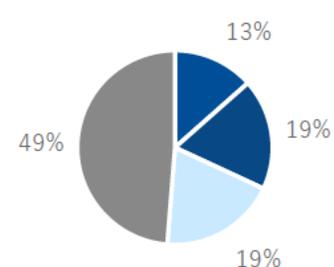
- 有効であった。
- どちらかと言うと有効であった。
- どちらかと言うと有効ではなかった。
- 有効ではなかった。

指定職・管理職 60名



- 有効であった。
- どちらかと言うと有効であった。
- どちらかと言うと有効ではなかった。
- 有効ではなかった。

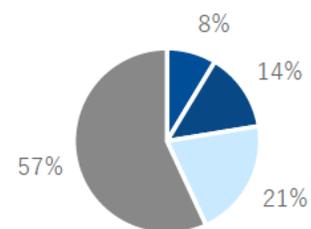
課長補佐 119名



- 有効であった。
- どちらかと言うと有効であった。
- どちらかと言うと有効ではなかった。
- 有効ではなかった。

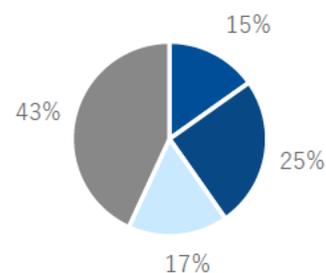
その他（行政事務研修員・非常勤職員等）

58名



- 有効であった。
- どちらかと言うと有効であった。
- どちらかと言うと有効ではなかった。
- 有効ではなかった。

係長・係員 211名



- 有効であった。
- どちらかと言うと有効であった。
- どちらかと言うと有効ではなかった。
- 有効ではなかった。

本事業の目的である「人脈の情報共有が政策立案や他課室および地方支分部局との連携に有効だったか」という点では、約35%のユーザが「有効であった」「どちらかと言うと有効であった」と回答した。

内訳としては、係長・係員が最も高く、40%のユーザが「有効であった」「どちらかと言うと有効であった」と回答した。一方で、問4で利用率が低かったその他のセグメントについては有効との回答が少なく、利用率とおおよそ相関関係にあることが推察される。

12. どのようなシーンにおいて有効でしたか（フリーコメント）

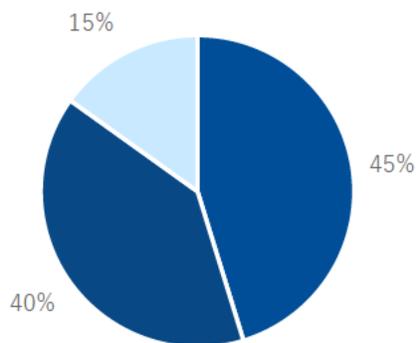
- ・有識者の先生に意見を伺いたくアプローチをする際に他の職員が名刺交換していた情報によって連絡先が分かり、スムーズにアプローチできた。
- ・災害時にメーカーでの被害を確認する際に、直接の担当者は不在でしたが、共有された名刺情報から相手先メーカーに連絡を取れたことがあります。
- ・初めてアプローチする企業の場合も、ファーストコンタクトのハードルが下がる点。スピーディーな業務遂行が可能となる。
- ・業務上、外の方と接触したいときに連絡先が入手出来て非常に助かった。また、定期的に名刺交換した事業者の情報が入るため、話題や新たな取り組みの情報入手等に利用ができた。
- ・省内の、どの課室が、どこの企業等にアプローチしたのかがすぐに判る。これだけでも**政策立案時等のサポート情報としては十分に価値がある。**
- ・自身が名刺交換した者に関してどういった省内関係者が名刺交換したか自分の中でわかった点。今後、更に省内で公開者が増え、同様に名刺交換した者が複数存在するようになれば、その中から連絡を取りやすい者などにアプローチすることもできようかと期待します。
- ・アプローチしたい企業や団体とつながりのある職員を簡単に探すことができ、つながりのない企業等へのアプローチがしやすくなったため
- ・**関連業界の企業担当者を集めて説明会を開催したいと考えたとき。**
- ・接触したことがない企業へのアプローチが非常に効率的にできた。**人的ネットワークを組織として管理することは、大変価値があると実感。**
- ・委員選定の際に、コンタクトしたことのある人に話を聞くなどした。
- ・昔の審議会で交換していた有識者について、他の課の審議会でも候補としてのリストアップや、本人へのアクセスがしやすかった。
- ・接点を持つ職員にアプローチし、当時の打ち合わせのメモ等の共有をしてもらうことで、先方の状況等を事前に把握することができた。相手と当

省との接点を事前に知ることで、無味乾燥になりがちなオンライン会議の導入に効果的。

- ・局として接触済みと未接触で話し方なり対応の仕方を最初から考えることができる。
- ・知らない企業へのアプローチをする際に、名刺交換を行った省内職員に企業のことや関係性等を聞くことができ、連絡も取りやすい点は有効と感じる。
- ・**外部団体の前任者が誰であったか等、履歴を検索することが出来た。**
- ・同じオンライン会議に参加していたが、メインスピーカーではなかったため詳細がわからなかった人について、Sansan上でその人の役職やコンタクトした職員を特定することができた。
- ・**どの機関の方が関係がある人かというところを調べたい際に有効であった。**
- ・事前に経営者の人柄等を把握できたことによりスムーズにヒアリング等の導入ができた。
- ・接触したい人物とコネクションを有している職員を探すのに有効であった
- ・局長・部長と接触があったかがすぐにわかるため、意見交換等の来客の事前対応に役立った。
- ・接触しようとする企業への訪問履歴が確認できた。
- ・Teamsレク時に、オンライン名詞（QRコード）の背景を利用している。

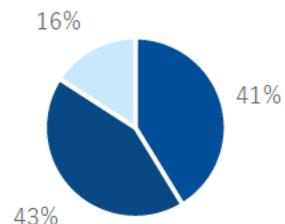
13. 今後、Sansanのような名刺共有サービスを利用したいと思いますか？

全体 517名



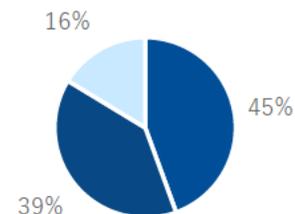
■ 利用したい。 ■ どちらとも言えない ■ 利用したいと思わない。

指定職・管理職 63名



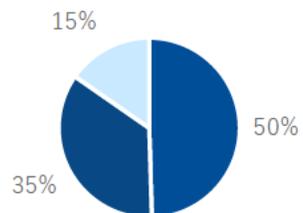
■ 利用したい。 ■ どちらとも言えない
■ 利用したいと思わない。

課長補佐 135名



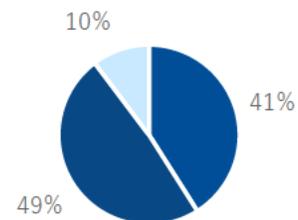
■ 利用したい。 ■ どちらとも言えない
■ 利用したいと思わない。

係長・係員 222名



■ 利用したい。 ■ どちらとも言えない
■ 利用したいと思わない。

その他（行政事務研修員・非常勤職員等） 78名

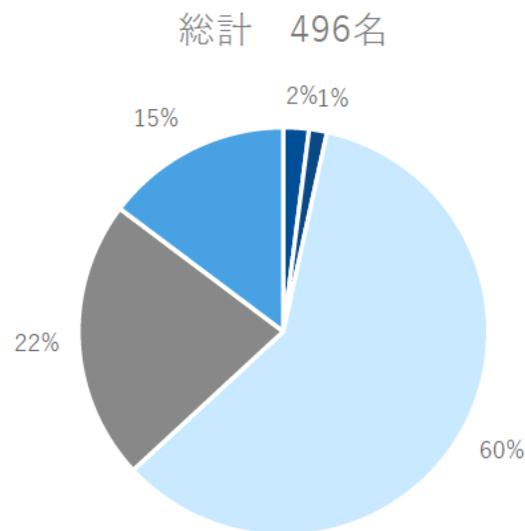


■ 利用したい。 ■ どちらとも言えない
■ 利用したいと思わない。

全体では約半数の方が「利用したい」と回答した。また、どちらとも言えない、を選択した方も、フリーコメントにて「名刺の代行スキャンサービスがあれば利用したい」「現在の部署では名刺交換の機会がないが、異動した際には利用したい」といった意見が非常に多く見受けられた。

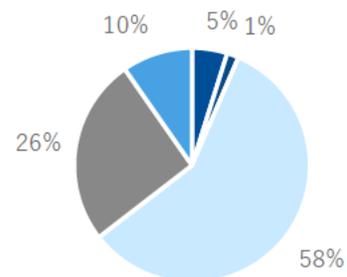
利用したい頻度が最も高かったのは係長・係員の50%で、名刺管理方法としてもSansanを利用している割合が最も高いセグメントだったため、利用度が高ければ高いほど継続意向が高いことが推察される。

14. Sansanの利用満足度を教えてください。



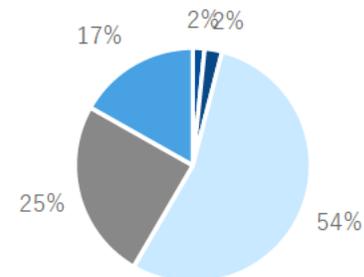
- 1 (非常に不満)
- 2 (不満)
- 3 (どちらとも言えない)
- 4 (満足)
- 5 (非常に満足)

指定職・管理職 62名



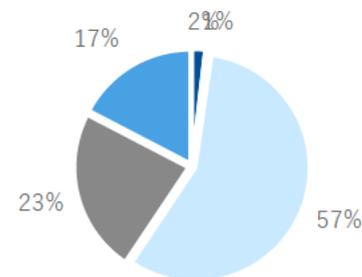
- 1 (非常に不満)
- 2 (不満)
- 3 (どちらとも言えない)
- 4 (満足)
- 5 (非常に満足)

課長補佐 125名



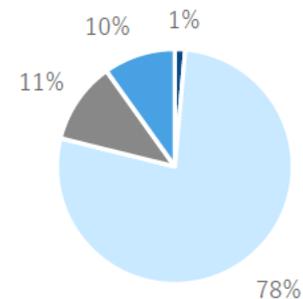
- 1 (非常に不満)
- 2 (不満)
- 3 (どちらとも言えない)
- 4 (満足)
- 5 (非常に満足)

係長・係員 219名



- 1 (非常に不満)
- 2 (不満)
- 3 (どちらとも言えない)
- 4 (満足)
- 5 (非常に満足)

その他 (行政事務研修員・非常勤職員等) 71名



- 1 (非常に不満)
- 2 (不満)
- 3 (どちらとも言えない)
- 4 (満足)
- 5 (非常に満足)

「不満」「非常に不満」を選択したのは全体のわずか3%となっており、約4割が「満足」「非常に満足」「どちらともいえない」という結果だった。

問13と傾向としては合致する状態で、その他のセグメントが最も低い傾向となった。一方で最も高いセグメントは課長補佐の42%となり、問13と傾向がやや異なっていることがわかる。

15. Sansanのような名刺共有サービスの利用について御意見があれば記載してください。

- ・ Sansanの電話番号をタップすると、自分の電話番号アプリにつながってしまうので、**IP電話につなげるようにしてほしい。**
- ・ 電話発信の際、電話アプリの呼び出し先や、着信設定を細かく設定できるとありがたい。
- ・ **当省の業務は守備範囲が極めて広く、担当業務のみを通じた企業、あるいは有識者など、（自分だけが名刺交換した）外部の方々との接点だけでは必ずしも十分な政策展開を図ることが可能とは言えない。よって、引き続き類似のサービスの継続を強く望みます。**
- ・ 名刺の情報は個人に関する情報でもあるので、名刺をもらった人以外にフリーで情報が共有されることについては、先方の承諾が必要ではないか
- ・ 名刺を読み取った企業とどのような内容で面会をしたか等、それぞれが行動履歴を残せるようにしてほしいです。
- ・ 部署によっては有効なのでしょうが、私が所属する部署では、名刺交換もほとんどなく、有効利用されるような名刺の授受もないと感じます。
- ・ 個人の名刺管理だけに利用させて欲しい。
- ・ 省内の横のつながりがないので、タテにそれぞれつながった情報を共有されても活用できないので、まずは**横の連携や組織間の相互理解など、下地ができていれば、こういったサービスがより有効だ**と思います。
- ・ 外部とのやりとりが多い部署や、委託事業を多数実施している部署においては有効なのではないかと思うのですが、現状、殆ど名刺も取得せず、他部署の名刺を参照したいという業務も無いため、利用しておりません。コンテンツ等の周知は、**大型異動時期の前後あたりにいただくと、前任から引き継いだ名刺、挨拶回りや自身の今後の業務を鑑みて、活用しようとする者は多いのではないかと思います。**
- ・ Sansanはカメラからの取り込み精度が高く、非常に助かっています。ぜひ今後も続けていただきたいです。

是非とも使い続けていただきたい。強く要望します。

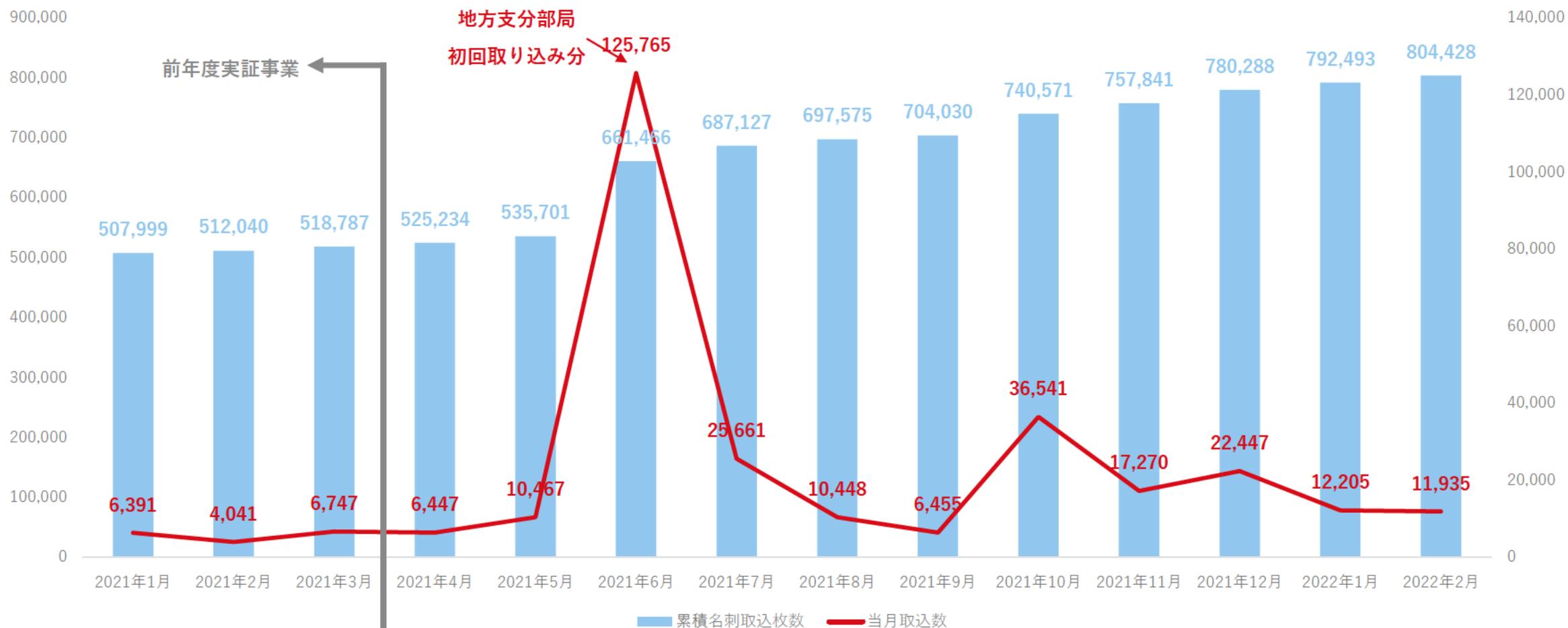
- ・ 入れる人と入れない人の温度差が大きいと思う。入力する職員の立場に立つとメリットを感じなかったりデメリットが大きいためと推察される。一方**組織としては、異動が激しく人脈が失われがちとおもわれ、それを防ぐために組織として利用を促進（強制）してはどうか**と思います。例えば引き継ぎ書の作成を義務化し、その中でSansanの名刺情報の引き継ぎも必ずするルールにするとか、入力すればするほど組織評価なり人事評価に組み込む、とか。
- ・ 個人でダウンロードしたアプリだと情報漏洩の心配をしなければならないので、組織で名刺共有サービスが使えるのは大変有意義。
- ・ 名刺をスマホから取り込んでみるととても楽なのでそれを周知する研修等をやれば利用が増えると思う。周りはあまり名刺のスキャンをしていないような感じ。
- ・ 現在の担当業務では、名刺を共有する意味合いがほぼないため、ほとんど利用していませんが、**担当業務が変更となれば利用を積極的に考えていきたいと考えています。**
- ・ Sansanがないと名刺管理・人脈管理の上で困るので引き続き利用したい。イントラ等から楽にSansan上の名刺情報を閲覧できると、利用率が高まると思う。
- ・ 幹部の名刺管理を代行しているが、従来の名刺管理システムとは異なり、**人の目でも入力内容を修正していただけるので、名刺管理に必要な作業時間の大幅な短縮が達成された。既に名刺交換を行っているか否かの確認が即座に行えることでアポ取りなどスムーズになった。**
- ・ 分野別、業務別などフォルダ管理できると検索性が上がると思う。現在は紙でもファイリングしており、業務別に検索する場合は紙で一覧できる方が便利。

利用率サマリ



名刺取り込み枚数推移

- 前年度の実証事業では3,980名のユーザが月間で4000-6000枚程度の名刺をスキャンしていたが、本年の実証事業においては5,287名のユーザが月間20,000枚程度スキャンしており、一人あたりの取り込み枚数が約3倍に増加していることがわかる。



Sansanご利用状況 - 全体サマリ 1/2 (2022/3/18時点)

- 同規模企業（5000名以上のユーザ企業）の平均と比較して、利用率はやや低い
- 初回のログインや取り込みについてはこの1年間でしっかりと実施できたため、今後は継続的な活用を促しActivityを向上させていく必要がある。

Sansanスコア

18

同規模ユーザ平均
26.1

貴省スコア 同規模ユーザの
平均スコア

Activity : 8

週次利用率

20



Database : 16

一人あたりの平均枚数

20



Coverage : 47

初回ログイン・取込率

50



Sansanご利用状況 - 全体サマリ 2/2 (2022/3/18時点)

- 初回取込が完了していないユーザーが半数以上いるため、未取り込みの名刺については引き続き取り込みを促す必要がある。
- スマホアプリを活用して、利用や名刺取込を習慣化していくことが次のステップとなる。

Activity

PC
ログイン
平均日数 (月次) **0.7** 日

スマホアプリ
ログイン
平均日数 (月次) **0.5** 日

Database

一人あたり
平均枚数 **157** 枚

総名刺枚数 **829,766** 枚

Coverage

初回ログイン済
ユーザー割合 **59** %

初回取込済
ユーザー割合 **36** %

本省と地方支分部局の導入比較

利用開始から2年が経過している本省と比較しても、地方支分部局の立ち上がりは非常に早く、ログイン済みユーザの割合や取り込み済みユーザの割合は本省と同水準まで引きあがっている。また、活用率については月次の利用率・名刺共有率ともに地方支分部局が上回っており、より活用されていることがわかる。

	本省	地方支分部局
1人あたりの平均名刺枚数	190枚	96枚
ログイン済ユーザ	58%	61%
取込済ユーザ	39%	38%
月次利用率	14.0%	15.7%
名刺共有率	1.6%	2.9%

費用対効果の分析



費用対効果

- 各ユーザのアクセスログを分析し、紙で管理した場合と比較してどれくらい業務効率化が図れたのかを示したのが下記のデータ。月刊でおよそ2,546時間の削減につながっており、国家公務員の平均時給と掛け合わせると、費用対効果は664万円/月と試算された。

経済産業省様の利用状況サマリ		対象ID数： 5287ID	対象期間： 11ヶ月														
【削減時間】																	
直近利用月における総削減時間	28,009 時間																
月平均削減時間	2,546 時間																
一人当たり平均削減時間(月)	0.48 時間																
【ROI】																	
貴社の時給平均(想定)	2,608 円															(参考) 国家公務員の平均時給の単価例	
月平均削減費用	6,640,725 円															人事院「令和2年国家公務員給与等実態調査」により、全俸給表の平均給与月額を想定月間勤務日数及び時間により除したものの。 416,203円 ÷ 20日 ÷ 8時間 ≒ 2,600円	
■名刺整理(名刺登録枚数を元に算出)	2021年4月	2021年5月	2021年6月	2021年7月	2021年8月	2021年9月	2021年10月	2021年11月	2021年12月	2022年1月	2022年2月	合計	通常必要時間(分)	削減時間(時間)			
名刺の整理	6,447	10,467	125,765	25,661	10,448	6,455	36,541	17,270	22,447	12,205	11,935	285,641	2	9,521			
名刺のデータ化	6,447	10,467	125,765	25,661	10,448	6,455	36,541	17,270	22,447	12,205	11,935	285,641	2	9,521			
■名刺や社内人脈の確認(延回数)	2021年4月	2021年5月	2021年6月	2021年7月	2021年8月	2021年9月	2021年10月	2021年11月	2021年12月	2022年1月	2022年2月	合計	通常必要時間(分)	削減時間(時間)			
自分の名刺を検索(PC)	672	1,095	2,101	1,194	739	785	1,288	1,277	1,164	1,017	838	12,170	3	507			
社内の人脈を検索(PC)	223	502	850	644	425	407	456	433	485	375	461	5,261	10	877			
名刺を検索(スマホ)	6,295	3,336	4,700	4,569	3,844	4,230	5,020	5,370	5,846	5,409	5,031	53,650	6	5,589			
合計検索回数	7,190	4,933	7,651	6,407	5,008	5,422	6,764	7,080	7,495	6,801	6,330	71,081		6,972			
■情報の取得(延回数)	2021年4月	2021年5月	2021年6月	2021年7月	2021年8月	2021年9月	2021年10月	2021年11月	2021年12月	2022年1月	2022年2月	合計	通常必要時間(分)	削減時間(時間)			
取引先の情報を確認	284	947	2,132	887	560	381	793	812	943	600	455	8,794	10	1,466			
人事異動・連絡先変更のニュース	65	37	101	220	251	99	167	360	233	205	195	1,933	5	161			
企業・競合のニュース	209	255	610	554	382	313	402	448	452	429	353	4,407	5	367			

ユーザインタビューからわかる 行政機関としての活用例

行政機関としての活用例①

令和3年度実証実験にてSansanをご利用いただいた職員様に対して実施したインタビューにてお伺いした活用方法をまとめております。

- インタビュー対象者
 - 調査統計グループ I様、H様
- 調査統計グループとは
 - 総務省など外部の委託を受けて統計調査を行う組織。全10個の課室から成る。各室で様々な統計を所管しており、各室は独立して調査を行っている。
 - 調査協力会社等を探す際にSansanを活用
- 活用例
 - 大学の教授等の有識者へ連絡をする際に活用。省内で研修を実施するPJTがあり、有識者の先生方アポを取る必要があったが、その際に「Sansan」で検索したところ、インターネットから検索するよりも早くほしい情報にたどり着くことができた。専門家を検索する際に省内の人脈は活かせると実感。
- 今後の更なる活用イメージ
 - コンタクト（議事録機能）：各課室が同じ民間企業や人物とコンタクトしているケースもあり、過去に会話した記録が名刺に紐づいて残っているとベスト。
 - タグ（ラベリング機能）：どの調査会社がこういったビックデータを持っているのか、どの分野に強みがあるのか、といった情報をラベリングして検索しやすい状態にしていきたい。

行政機関としての活用例②

- インタビュー対象者
 - 関東経済産業局 地域経済部 Y様
- 関東経済産業局地域経済部とは
 - 1都10県を所管し、関内にある485の基礎自治体に対して地域経済の活性化に関する支援を実施する組織。各自治体と連携しながら、民間企業・団体の支援を実施する。専門家や国の支援機関のネットワークも活用しながら提案していく。
- 活用例
 - 新しい自治体へアプローチする際に、過去省内で名刺交換したことが無いか検索している。現時点で485の自治体のうち接点を持っているのは3割程度のため、より多くの自治体とスピーディーに繋がり課題解決していくために、Sansanを活用している。
- 今後の更なる活用イメージ
 - メール配信機能：膨大な自治体に対して情報収集をし、個別にアプローチをするにはリソースの限界があるため、過去に省内で接点を持った自治体に対しこちらから情報発信をして自治体のセミナー参加等を促し、各地域における課題をスピーディーに把握できるようにしていきたい。

地方支分部局との人脈の共有が
行政機関にもたらす価値

民間企業 × 経済産業省のネットワークの可視化



接点マップ

- 経済産業省が過去に接点を持ったことがある民間企業について、「どの部署の・どの役職に・どのくらい多くの」接点があるかをSansanが自動的に分析し、ヒートマップ形式で確認することができます。

The screenshot shows the '接点マップ' (Contact Map) interface for 'Iwate Construction Co., Ltd.' (Iwate Kenzoku Co., Ltd.). The left sidebar contains navigation options: 浅葉建設株式会社, 財務・業績, 組織ツリー (481), 接点マップ (highlighted with a red box), 名刺 (742), コンタクト (210), 案件 (101), ニュース, 人事異動・連絡先変更, 社内のニュース, 企業のニュース, and 取引先 (349). The main area displays search filters: 会社名 (dropdown), 名刺交換日 (2018/11/08 ~ 2019/11/08), and 名刺所有者 (全体). Below the filters, it shows '該当名刺枚数 12221 枚'. A heatmap shows contact counts by position (役員級, 本部長級, 部長級, 課長級, 主任級, 役職なし) and department (経営層, エイ, 営業, 支社・支店, その他). A callout box points to the '本部長級' row, which has a value of 15. A detailed view for '2019.12.14' shows two contacts: 田中 徳兵衛 (営業推進本部 東京企業営業第三部 室長) and 宮本 明 (ビジネスソリューション第1部 事業法人グループ 主任).

接点の内容を確認したい「役職」×「部署」を選び、クリックすると、誰が交換したのかを確認することができます

Sansan Labs

- Sansanの研究機関が提供する「Sansan Labs」では、名刺を様々な角度から分析し、特定の業界に知見を持った同僚の検索や、各ユーザの名刺交換の傾向等を知ることができます。

The screenshot displays the Sansan Labs website interface, which is divided into several sections:

- Sales Tech -営業支援-**
 - 接点ユーザーへの人事異動ニュース配信**: A flow diagram showing a document icon, a Sansan logo, a document icon labeled '人事異動 NEWS', and a person icon with an exclamation mark. Below it, text explains that company HR movement information is distributed via newsletters, and users can upload their own HR movement data to receive newsletters like '人事異動・連絡先変更'.
 - 企業の組織情報の変更をチェック**: A 'NEW' banner for 'デジタルトランスフォーメーション' (Digital Transformation) with a search icon. Below it, a diagram shows '組織改革' (Organizational Reform) leading to '新たにDX推進部を設立' (Establishing a new DX promotion department) and '人事異動' (HR Movement) leading to '人事異動のお知らせ' (HR Movement Notice).
- HR Tech -タレントマネジメント-**
 - 所有名刺でタイプを分析**: A radar chart with five axes labeled '社内キーパーソン' (Internal Key Person), '関係者' (Stakeholder), '大顧客' (Major Customer), 'チームリーダー' (Team Leader), and '大顧客' (Major Customer). Below it, text describes 'マイビジネスパーソンタイプ分析 (β)' (My Business Person Type Analysis (β)), where users can analyze their own or others' business person types to understand their orientation or strengths.
 - キーワードから同僚を探す**: A 'NEW' banner for '同僚ナレッジサーチ (β)' (Colleague Knowledge Search (β)). Below it, a diagram shows a central person icon connected to '建設' (Construction), '商社' (Trading Company), 'システム' (System), and '関西' (Kansai).

On the right side, there is a detailed view of the '同僚ナレッジサーチ (β)' feature:

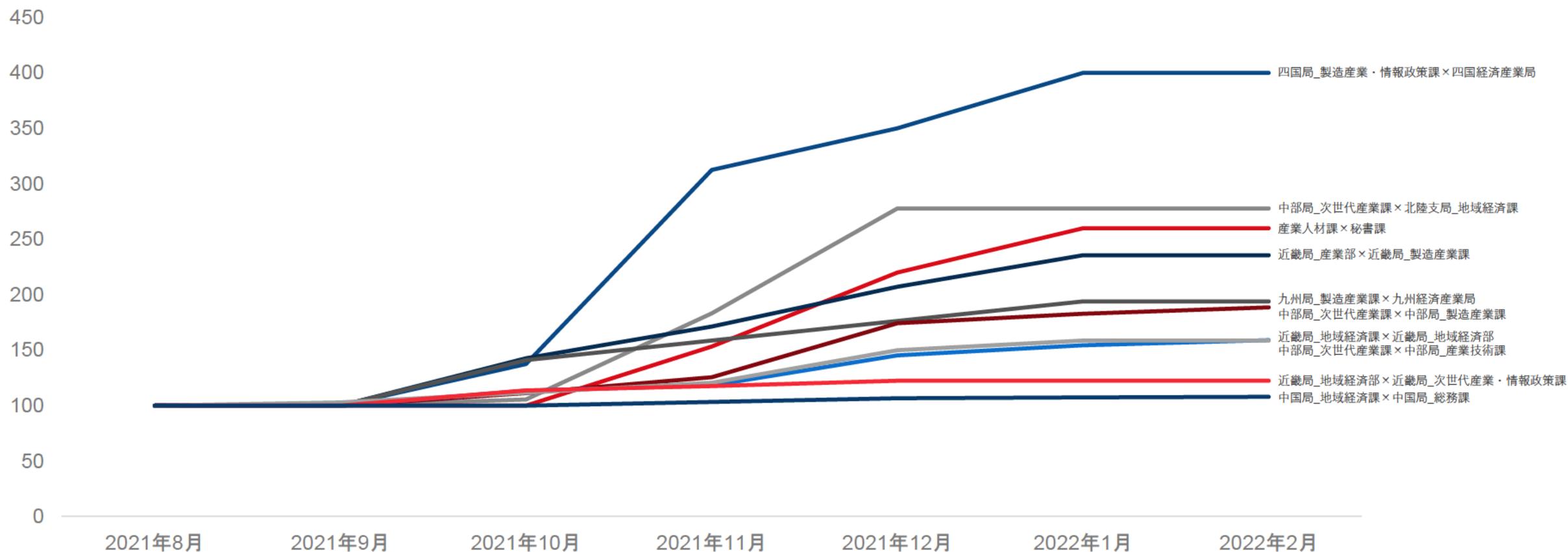
- 同僚ナレッジサーチ (β) キーワードから同僚を探す**: A search interface with a search bar and a magnifying glass icon. Below the search bar, there are radio buttons for 'キーワード・会社' (Keyword/Company) and '同僚名' (Colleague Name). To the right, it says 'あなたがよく知るキーワード・会社で検索してみましょう' (Try searching with keywords/companies you know well). Below the search bar, there are several tags: 'クラウドサービス提供', 'Webシステム', 'ネットワーク構築', 'あやめ情報システム株式会社', and '株式会社 日出テクニカル'.
- "建設"を知っている同僚**: A list of colleagues who know '建設' (Construction). The list includes:
 - 石川翔太 (Shikawa Shota) - 営業部/エンタープライズグループ
 - 間下純二 (Majima Junji) - コンサルティング部
 - 重見政希 (Shigemasa Masaki) - コンサルティング部
 - 烏村弥千代 (Kazumura Yuchika) - 企画部

地方支分部局 × 本省のネットワークの可視化



名刺重複ネットワークの推移（2021年8月から2022年2月にかけて上昇率が高かった上位10組）

- 下記は、名刺の重複率が継続的に上昇し、かつ上昇幅が大きい2部署の組み合わせとなり、継続的に上昇していることからお互いのネットワークを共有して業務上活用している可能性があると言える。



本省-地方間名刺重複率が高い部署（取込数上位50部署内,ユーザ5人以上の部署）

-本省-地方間名刺重複率とは、部署で接触した人物のうち、本省と地方の垣根を超えて重複している人物の割合を表します。

部署名	ユーザ数	接触人物数	他部署との名刺重複率(%)
クールジャパン政策課	16	2,829	19.335
産業創造課新規事業創造推進室	19	1,276	17.555
経営支援課	22	1,198	16.444
沖縄経産部_企画振興課	8	1,357	16.286
自動車課	30	1,230	15.854
原子力発電所事故収束対応室（福島G）	29	2,367	15.758
中部局_次世代産業課	15	1,477	14.963
秘書課	90	1,768	14.876
生物化学産業課	17	1,999	14.407
東北局_商業・流通サービス産業課	6	2,228	13.914

本省-地方間名刺重複率が低い部署（取込数上位50部署内,ユーザ5人以上の部署）

-本省-地方間名刺重複率とは、部署で接触した人物のうち、本省と地方の垣根を超えて重複している人物の割合を表します。

部署名	ユーザ数	接触人物数	他部署との名刺重複率(%)
中国局_環境・リサイクル課	6	1,817	3.797
中国局_中小企業課	14	1,533	4.566
近畿支部_電力安全課	15	1,975	4.658
近畿局_地域経済課	17	1,165	4.893
中国局_総務課	14	4,432	4.964
四国局_地域経済課	11	1,194	5.360
関東東北監督部_保安課	10	1,287	5.750
九州局_消費経済課	8	4,650	5.849
東北局_中小企業課	9	1,420	5.915
産業資金課	13	2,529	6.366

実証結果



実証結果

- **地方支分部局と本省のネットワークが共有できる環境が構築できた**
 - 本年度の実証事業において約30万枚の名刺が増え、経済産業省としての人脈データベースを1.6倍増とすることができた。また、地方支分部局の名刺については全て公開設定でスキャンを実施したため、個人の名刺管理に留まることなく、組織としてネットワークを共有する土台を構築することができた。
- **人脈ネットワークの重複が徐々に拡大している地方支分部局と本省の組み合わせも見受けられた**
 - 現時点でネットワークに重複が見られているのは同じ地方支分部局内もしくは本省内の課室間であり、地方支分部局と本省を跨いでネットワークの共有は現時点ではまだわずかなものの、いくつかの組み合わせにおいては業務上の関係性が薄いと予測されるにも関わらず、人脈ネットワークの重複が徐々に拡大している組み合わせも見受けられた。
- **紙名刺の管理や省内人脈確認、事業者の情報収集等の面で業務効率が向上する余地があることが確認できた**
 - 今年度は経済産業省の地方支分部局を含む全職員に拡大したことで、活用できるデータが増え各ユーザの検索回数や活用頻度が上がり、結果的に業務効率の向上に直結することが実証された（P47）。一方で、活用しているユーザにはばらつきがあり、ニーズはあるが活用できていない職員も多く、引き続き活用促進をすることで導入の効果を高めることができると想定している。

実証結果

- 地方支分部局との連携を一層進めていくために、次年度以降以下のような取り組みが推奨される
 - 人脈ネットワークの可視化を通して、これまで見えなかった繋がりに気づきを与える
 - 人脈ネットワークマップ（P56）を経産省サイトで常時掲載し、周知を図る
 - ネットワークの重複が多い組み合わせで意見交換会を実施し、政策立案に関する情報交換を行う
 - 本省 - 地方支分部局の連携ペルソナ構築伴走支援
 - 省内で希望者を募り、名刺共有機能を活用する事例構築のため、定期的にサポートする
 - 具体的な業務に役立つ発展機能の活用促進
 - 同じ事業者と同じテーマでヒアリングをする等の非効率な状況を避けるため、接触記録のシェアや議事録のシェアをするためのコンタクト機能の勉強会を開催する
 - 事業者への効率的な情報発信を実現するメール配信機能の活用提案する

期待する効果に対する結果

①名刺の保管スペースの削減/紛失リスクを減らしよりセキュアな状態に

- 本年度の実証事業において約30万枚の名刺がSansanにスキャンされ、以降紙名刺の廃棄が可能な状態になった。また、アンケートのコメント等からも読み取れる通り、スマートフォンで出先からの利用も活発なため、紙名刺を持ち歩くよりも紛失リスク等を減らすことができたといえる。

②民間企業に関する情報収集の効率化（企業のニュース、財務・業績、分析レポートなど）

- 費用対効果の分析からもわかる通り、情報の取得に関しては年間で1,994時間の削減効果があり、費用換算すると約520万円の効果につながった。削減できた分政策立案等の本質的な業務に使える時間が増えるという観点で、業務効率化に大きく寄与したといえる。

③リモートワークにおけるオンライン名刺機能

- システム管理者による一括設定で、オンライン名刺を全省として活用できる土台を整えることができた（現在5,190ユーザの設定が完了）。オンライン名刺の取得枚数は649枚と現時点では多くないが、今後より一層の促進を続けることで、リモートワークでも人脈を組織の資産として蓄積できる状態に持っていくことができると期待される。

(appendix) Sansan 人脈共有レポート(β)



技術本部 研究開発部

概要

経済産業省(令和3年度)内のSansanユーザーを対象に、省内での名刺共有の状態を様々な角度から俯瞰します。

- 分析項目
 - 名刺重複率が高い部署・低い部署
 - 省内部署×相手業界
 - 省内部局×相手業界
- 前提
 - クラウド名刺管理サービスSansanに取り込まれた名刺を対象とする
 - 期間: 2021-04-01 から 2022-02-28 まで。
 - 非公開設定されている名刺は除外

名刺重複率の高い部署（取込数上位50部署内,ユーザ数5人以上の部署）

-名刺重複率とは、部署で接触した人物のうち、他の部署でも接触している人物の割合を表します。

部署名	ユーザ数	接触人物数	他部署との名刺重複率(%)
中国局_産業技術連携課	8	1,725	59.188
自動車課	30	1,230	56.016
中国局_製造・情報産業課	13	2,382	52.015
四国局_新事業推進課	10	1,224	51.062
中国局_企画調査課	10	2,934	49.216
中部局_次世代産業課	15	1,477	47.800
四国局_製造産業・情報政策課	12	1,496	47.594
中国局_流通・サービス産業課	8	1,803	47.255
経営支援課	22	1,198	46.912
関東局_産業技術革新課	13	1,300	46.846

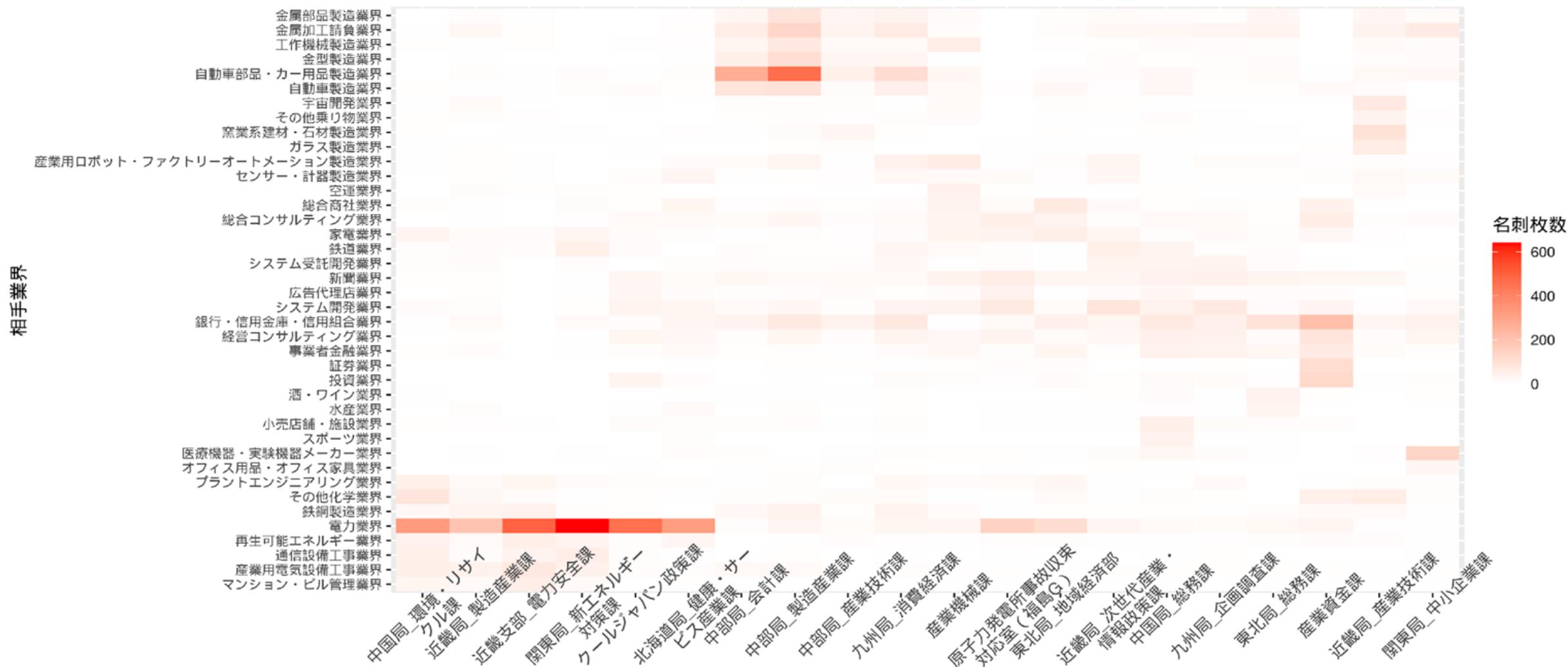
名刺重複率の低い部署（取込数上位50部署内, ユーザ数5人以上の部署）

-名刺重複率とは、部署で接触した人物のうち、他の部署でも接触している人物の割合を表します。

部署名	ユーザ数	接触人物数	他部署との名刺重複率(%)
関東局_新エネルギー対策課	11	2,507	20.622
四国局_地域経済課	11	1,194	22.948
北海道局_健康・サービス産業課	8	2,911	23.119
九州局_消費経済課	8	4,650	24.065
産業資金課	13	2,529	24.278
近畿支部_電力安全課	15	1,975	24.304
産業機械課	18	2,765	26.257
中国局_環境・リサイクル課	6	1,817	27.793
近畿局_地域経済課	17	1,165	28.670
関東局_中小企業課	13	2,306	28.838

省内部署 × 相手業界

ユーザ部署×相手業界で区分した名刺枚数(累積名刺取込上位20位以上の部署(部局)を対象に,各上位5位の企業)
 *業種不明の企業を除外。類似したパターンを隣接して配置。



省内部局 × 相手業界

ユーザ部局×相手業界で区分した名刺枚数(累積名刺取込上位20位の部署(部局)を対象に,各上位5位の企業)
 ※業種不明の企業を除外。類似したパターンを隣接して配置。

